



神奈川県
鎌倉保健福祉事務所

鎌倉保健福祉事務所年報

2010(平成22)年度

神奈川県鎌倉保健福祉事務所

はじめに

平成23年3月11日に未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生しました。

まず始めに、今回の東日本大震災及び続く大津波に被災された方々、そして原発事故により不安で不自由生活を余儀なくされている方々には、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

県内でも震度4～5の揺れがあり大津波警報も出て緊急配備となり、また首都圏全域で停電のため鉄道も停まり、当所職員も夜を徹して対策にあたりました。県内でも建物や人的被害もあり、その後暫く計画停電が実施され、鉄道も間引かれて生活や業務に困難を強いられました。また、当所からも被災地支援に職員が派遣されています。

原発事故により放射性物質の放出があり、緊急避難が実施され、本県に避難されてきた方へのサーベイメーターでの測定も実施いたしました。更に、放射性物質の拡散は関東地方にも及び、食べ物や水等への相談にも対応しました。県内でも茶葉の汚染が判明し出荷制限する事態になり、風評被害は原発周辺地区だけではなく留まっています。死者・行方不明者合わせて約2万人で、避難されている方もまだ多いためです。

震災関連以外では、神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例と神奈川県海水浴場等に関する条例が施行され、たばこ対策が大きく進んだ事が挙げられます。

ところで、長引く不況の影響で社会的弱者にしわ寄せがきて、生活保護世帯が急増しています。震災による景気への悪影響を考えると今後の動向が懸念されます。

管内の医療機関の関連でも、経営不振が続いていた北鎌倉病院が突然閉鎖する事態になり、入院患者の転院等を支援しました。更に歴史と実績のある清川病院も負債処理のため企業再生支援機構の支援を受けることになりました。

また、全国で所在不明高齢者が多くいることが明らかになり、その中には死亡を隠蔽して家族が年金支給を持続的に受けるという詐欺まがいの事例もあり、管内市町を中心に対応に迫られました。家族の絆や地域の絆の希薄化が問題となっています。

一方、感染症関連では宮崎で口蹄疫が発生し本県からも獣医師が応援に行きました。更に、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の感染により死亡した白鳥や鴨等が全国で見つかり、千葉県でも発生したために本県での警戒レベルを1ランク挙げて対応しました。また、新たな脅威の多剤耐性菌のNDM1が国内でも発見され、新型インフルエンザが季節性に移行したものの、感染症の問題は依然公衆衛生上重要な課題です。

また、県の対応の不備で栽培できないけしが栽培・販売され、管内の園芸店にも出荷されていたので、その回収にあたりました。

本書は、平成22年度の当所事業実績を纏めたものです。保健・医療・福祉活動の資料として活用して頂ければ幸いです。

平成24年1月

神奈川県鎌倉保健福祉事務所長 深澤博史

目 次

第1章 概要

1 鎌倉保健福祉事務所の概要	1
(1) 沿革	1
(2) 所管区域	2
(3) 機構及び分掌事務	3
(4) 職種別職員配置状況	4
(5) 施設の状況	4
(6) 経理状況	5
2 圏域の概要	6
(1) 圏域区域	6
(2) 面積及び人口等	6
(3) 人口の推移	6
(4) 5歳階級別人口	7
(5) 年齢(3区分)別人口及び構成比	8
(6) 保健・医療・福祉施設総括表	9

第2章 管理課

1 表彰	10
(1) 神奈川県保健衛生表彰(知事)	10
(2) 神奈川県保健衛生表彰(保健福祉事務所長)	10
(3) 神奈川県献血推進功労者表彰(知事)	10
(4) 神奈川県献血推進功労者表彰(保健福祉事務所長)	10
2 免許事務取扱い件数	11

第3章 企画調整課

企画調整課業務	12
1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整	13
(1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議	13
(2) 保健福祉サービス連携調整会議	13
(3) 地域保健師業務連絡会議	14
(4) 保健師活動実績	15
(5) 横須賀・三浦地域災害時要援護者対策市町担当者会議	15
(6) 地域の健康課題を把握するための地域診断事業	15
2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発	16
(1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報の提供	16
(2) 広報紙「うみかぜ」の発行	16
3 保健・福祉人材の育成	17
(1) 保健衛生研修	17
(2) 実習生指導	17
4 保健統計等	18
(1) 人口動態調査	18

(2) 衛生行政報告例(母体保護に関する統計部分)	18
(3) 国民生活基礎調査	18
(4) 医療施設動態調査	18
(5) 病院報告	19
(6) 地域保健・健康増進事業報告	19
(7) 福祉行政報告例	19
5 医務・献血関係	19
(1) 医療施設数・人口10万対率(市町別)	19
(2) 医療施設数・人口10万対率年次推移	19
(3) 病床数・人口10万対率(市町別)	20
(4) 病床数・人口10万対率年次推移	20
(5) 医務関係許可等取扱い件数	21
(6) 立入検査	21
(7) 医療従事者数・人口10万対率(市町別)	21
(8) 献血数・目標数(市町別)	22
(9) 年次別献血数・目標数	22
6 たばこ対策	23
(1) 受動喫煙防止条例の施行に係る普及啓発等	23
(2) 地域禁煙サポート推進事業	23

第4章 保健福祉課

保健福祉課業務	24
1 母子保健	26
(1) 思春期保健事業	26
(2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業	26
(3) 特定不妊治療費助成事業	26
(4) 未熟児訪問指導	27
(5) 小児医療援護	27
(6) 養育支援事業	28
(7) 保健福祉サービス連携調整会議(母子保健部会)	29
(8) 病院との継続看護	30
(9) 乳幼児身体発育調査・幼児健康度調査	30
(10) 母子保健事業等連絡会	31
2 健康増進対策	31
(1) 健康づくり事業等	31
(2) 保健福祉サービス連携調整会議(健康増進・高齢者保健福祉部会)	32
(3) がん検診普及啓発セミナー	32
(4) 市町村保健サービス評価支援活動	32
3 栄養・食生活対策	33
(1) 地域食生活対策基盤整備	33
(2) 広域的・専門的栄養改善活動	33
(3) 特定給食等指導	34
(4) 行政栄養士との連携・連絡調整	35
(5) 人材育成	35

(6) 国民健康・栄養調査及び県民健康・栄養調査	36
4 歯科保健	37
(1) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業	37
(2) 障害児者等歯科保健事業	37
(3) 歯周疾患予防対策事業(歯と歯ぐきの検診)	37
(4) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業	38
(5) 保健福祉サービス連携調整会議(歯科保健部会)	38
(6) 歯科健康教育	38
(7) 人材の育成	38
(8) 歯の健康づくり事業	39
(9) その他	39
5 地域福祉の事業	40
(1) 民生委員・児童委員の活動	40
(2) 障害福祉相談員の活動	40
(3) 地域福祉コーディネーター養成事業	40
(4) 成年後見制度普及事業	41
(5) バリアフリーのまちづくり推進事業	41
(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域事業の推進	41
6 介護保険	42
(1) 介護保険審査会運営事業	42
(2) 介護保険指定事業者指導等事業	42
7 生活福祉の業務	43
(1) 生活保護業務	43
(2) 特別障害者手当等の支給状況	44
(3) 母子福祉資金等の貸付	44
(4) 母子自立支援員の設置	45
(5) 関連する業務	45

第5章 保健予防課

保健予防課業務	46
1 結核予防	47
(1) 定期の健康診断	47
(2) 健康診断	47
(3) 結核患者の状況	48
(4) 感染症診査協議会・結核部会	49
2 感染症予防	50
(1) 全数把握対象疾患情報(結核は除く)	50
(2) 集団かぜ(インフルエンザ)による臨時休業状況(延べ数)	50
(3) 肝疾患対策	50
3 エイズ予防	51
(1) エイズ相談・検査	51
(2) エイズ予防普及事業	51
4 難病対策	52

(1) 特定疾患医療援護	52
(2) 相談	53
(3) 訪問指導	53
(4) 医療相談等	53
(5) 訪問相談	53
(6) 難病患者等ホームヘルパー養成研修	53
(7) 在宅療養支援計画策定・評価事業	53
5 原爆被爆者援護	54
(1) 被爆者健康手帳等交付状況	54
(2) 被爆者等定期健康診断受診状況	54
6 認知症対策	54
(1) 認知症患者の状況	54
(2) 認知症相談	54
(3) 訪問指導	55
(4) 処遇困難事例検討事業	55
(5) 地域支援	56
7 精神保健福祉	57
(1) 相談・訪問指導	57
(2) 教育広報活動	58
(3) 団体支援及び連携	58
(4) 社会復帰の支援	59
(5) 医療保護関係事務	59
(6) 会議	60
(7) 社会的ひきこもり支援事業	61
(8) こころといのちのサポート事業	61

第6章 環境衛生課

環境衛生課業務	63
1 環境衛生営業施設等の衛生確保	64
(1) 環境衛生営業施設数及び監視指導状況	64
(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況	64
(3) 講習会開催状況	64
(4) 免許事務取扱い件数	64
(5) 海水浴場の水質検査実施状況	65
2 生活環境施設等の衛生確保	66
(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況	66
(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況	66
(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況	66
(4) 建築物登録業営業所数及び監視指導状況	67
(5) 水道施設数及び監視指導状況	67
(6) 小規模水道等施設数及び監視指導状況	67
(7) 住まいと健康サポートシステムの推進	67
(8) 温泉施設数及び監視指導状況	67
(9) 墓地等施設数及び監視指導状況	67

(10) 苦情・相談等処理状況	67
3 動物保護対策	68
(1) 飼えなくなった犬、猫等の引き取り	68
(2) こう傷事故の発生状況	68
(3) 犬、猫等の苦情相談の処理状況	68
(参考事項) 市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況	68
4 医薬品等の安全性確保	69
(1) 薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況	69
(2) 薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱い件数	69
(3) 毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況	69
(4) 毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数	70
(5) 麻薬等業務所数及び監視指導状況	70
(6) 麻薬免許事務等取扱い件数	70
(7) 覚せい剤取扱者数及び監視指導状況	71
(8) 覚せい剤事務取扱い件数	71
(9) 薬物乱用防止啓発活動	71

第7章 食品衛生課

食品衛生課業務	73
1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導	74
(1) 許可を要する営業施設	74
(2) 許可を要しない営業施設	75
(3) 営業施設数の年度別推移(5年間)	75
(4) 調理師免許等関係事務の取扱い	75
2 食品等の収去検査	76
(1) 食品等の品目別検査結果	76
(2) 検体数及び不適検体数の年度別推移(5年間)	76
3 普及啓発の実施	77
(1) 食品衛生講習会の実施状況	77
4 食中毒等の処理	77
(1) 食中毒の発生状況	77
5 食品関係等の苦情処理	77
(1) 食品等の苦情処理	77
(2) 苦情処理件数の年度別推移(5年間)	77

<資料>

1 人口動態統計	78
2 出生統計	83
3 死亡統計	91
4 福祉統計	101
5 神奈川県公衆衛生協会鎌倉支部長表彰	104
6 刊行物発行実績	105
7 職員の研究・学会等発表	105

<本書の見方>

- 1 表の時点について特に付記のないものは、平成23年3月31日現在です。
- 2 表中の記号の用法は次のとおりです。
 - ・合計欄以外で計数のない場合 —
 - ・計数不明の場合 …
 - ・統計項目のありえない場合
 - ・比率が微小(0.05未満)の場合 0.0

第 1 章 概 要

1 鎌倉保健福祉事務所の概要

(1) 沿革

ア 鎌倉保健所

- 1944 (昭和 19) 年 10 月 逓信省簡易保険鎌倉健康相談所 (鎌倉市大町久保 27-1、通称琵琶小路、現鎌倉市由比ガ浜 2-3-11 鎌倉市授産所) の廃止に伴い、その施設を継承し、神奈川県鎌倉保健所として発足し、業務を開始。所管区域は、鎌倉市と鎌倉郡 (深沢村、大船町、片瀬町)。
- 1948 (昭和 23) 年 6 月 鎌倉郡が鎌倉、藤沢両市に分割併合され、鎌倉市を所管。
(深沢村は昭和 23 年 1 月、大船町は昭和 23 年 6 月鎌倉市に編入、片瀬町は昭和 22 年 4 月藤沢市に編入。)
- 1949 (昭和 24) 年 7 月 三浦郡葉山町が町民の要望により、三崎保健所の所管区域から鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1950 (昭和 25) 年 7 月 逗子が横須賀市から分離し、三浦郡逗子町となり、鎌倉保健所の所管区域となる。
- 1951 (昭和 26) 年 10 月 神奈川県保健所整備拡充計画に基づき、鎌倉市乱橋材木座 1219 (現由比ガ浜 2-16-13) に新築移転。
- 1953 (昭和 28) 年 10 月 課制が施行され、総務課、衛生課、保健予防課を設置。
- 1953 (昭和 28) 年 11 月 葉山支所を葉山町一色 2017 に設置。
- 1963 (昭和 38) 年 3 月 庁舎を改築。
- 1969 (昭和 44) 年 7 月 総務課が管理課に改称。
- 1970 (昭和 45) 年 7 月 次長制を施行するとともに、保健予防課から保健婦業務を分離し、保健婦室を設置。
- 1974 (昭和 49) 年 8 月 衛生課を 2 課に分割し、環境衛生課と食品衛生課を設置。
- 1977 (昭和 52) 年 4 月 逗子市桜山 6-12-22 に逗子保健ステーションを設置。
- 1983 (昭和 58) 年 6 月 保健婦室を廃止し、健康指導課を設置。
- 1985 (昭和 60) 年 4 月 保健所試験検査業務集中処理の実施に伴い、鎌倉保健所の試験検査業務を藤沢保健所に集中し、鎌倉保健所の試験検査業務は廃止。
- 1987 (昭和 62) 年 11 月 葉山支所の庁舎を葉山町一色 1503-2 に新築し、移転。
- 1989 (平成元) 年 4 月 逗子保健ステーションを逗子市に移管。
- 1993 (平成 5) 年 4 月 部制が施行され、保健衛生部、環境衛生部の 2 部 4 課及び管理課となり、次長が副所長となる。
- 1997 (平成 9) 年 3 月 葉山支所を廃止。
- 1997 (平成 9) 年 4 月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部と統合し、鎌倉保健福祉事務所として設置。管理課、企画調整室、保健福祉部 (保健福祉課、保健予防課)、生活衛生部 (環境衛生課、食品衛生課) の 2 部 1 室 5 課体制となる。
- 2007 (平成 19) 年 6 月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2 部 6 課体制となる。
- 2008 (平成 20) 年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。

イ 福祉事務所

- 1951（昭和 26）年 10 月 社会福祉事業法の施行に伴い、三浦郡（三浦町、逗子町、葉山町）を所管区域とし、三浦福祉事務所が三浦地方事務所内（三浦町六合 3570）に設置され、所長（地方事務所長兼務）のほか次長がおかれ、庶務課、保護課の 2 課制で発足。
- 1955（昭和 30）年 7 月 三浦福祉事務所が廃止され、三浦郡葉山町は（逗子町は昭和 29 年 4 月、三浦町は昭和 30 年 1 月市制施行）中福祉事務所（平塚市平塚 1713）の所管区域となる。
また、次長制が廃止され、保護課が福祉課に改称。
- 1967（昭和 42）年 6 月 次長制が復活され庶務課が総務課に、福祉課が保護課に改称。
- 1969（昭和 44）年 7 月 中福祉事務所が湘南福祉事務所に改称され、事務所は平塚市西八幡 1-3-1、合同庁舎に移転。
また、所長は地方事務所長の兼務から専任所長制になり、総務課が管理課に改称。
- 1974（昭和 49）年 8 月 管理課に管理係、保護課に保護係、福祉係が置かれ、2 課 3 係制となる。
- 1981（昭和 56）年 6 月 保護課が福祉課に改称され、保護係、福祉係の 2 係制が廃止。
- 1982（昭和 57）年 6 月 管理課の管理係が廃止。
- 1985（昭和 60）年 4 月 横須賀三浦地区行政センターに福祉部が設置されるとともに、葉山福祉事務所が同行政センターの付置機関として設置され、三浦郡（葉山町）は葉山福祉事務所の所管区域となる。
また、葉山福祉事務所は同行政センター福祉部におかれ、所長は同行政センター所長の兼務となる。
- 1997（平成 9）年 4 月 横須賀三浦地区行政センター福祉部の一部と鎌倉保健所との統合により葉山福祉事務所は鎌倉保健福祉事務所に併置され、所長は鎌倉保健福祉事務所長の兼務となる。
- 2007（平成 19）年 6 月 行政組織規則の一部改正により、企画調整室が企画調整課となり、2 部 6 課体制となる。
- 2008（平成 20）年 4 月 行政機関設置条例および行政組織規則の一部改正により、保健福祉事務所、保健所、福祉事務所が統合され、保健福祉事務所となる。

（2）所管区域

ア 三浦半島地区に関する保健福祉にかかる総合調整、福祉関連事業

横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の 4 市 1 町

イ 保健所業務

鎌倉市、逗子市、葉山町の 2 市 1 町

（三浦市は三崎保健福祉事務所、保健所政令市である横須賀市は横須賀市保健所が所管）

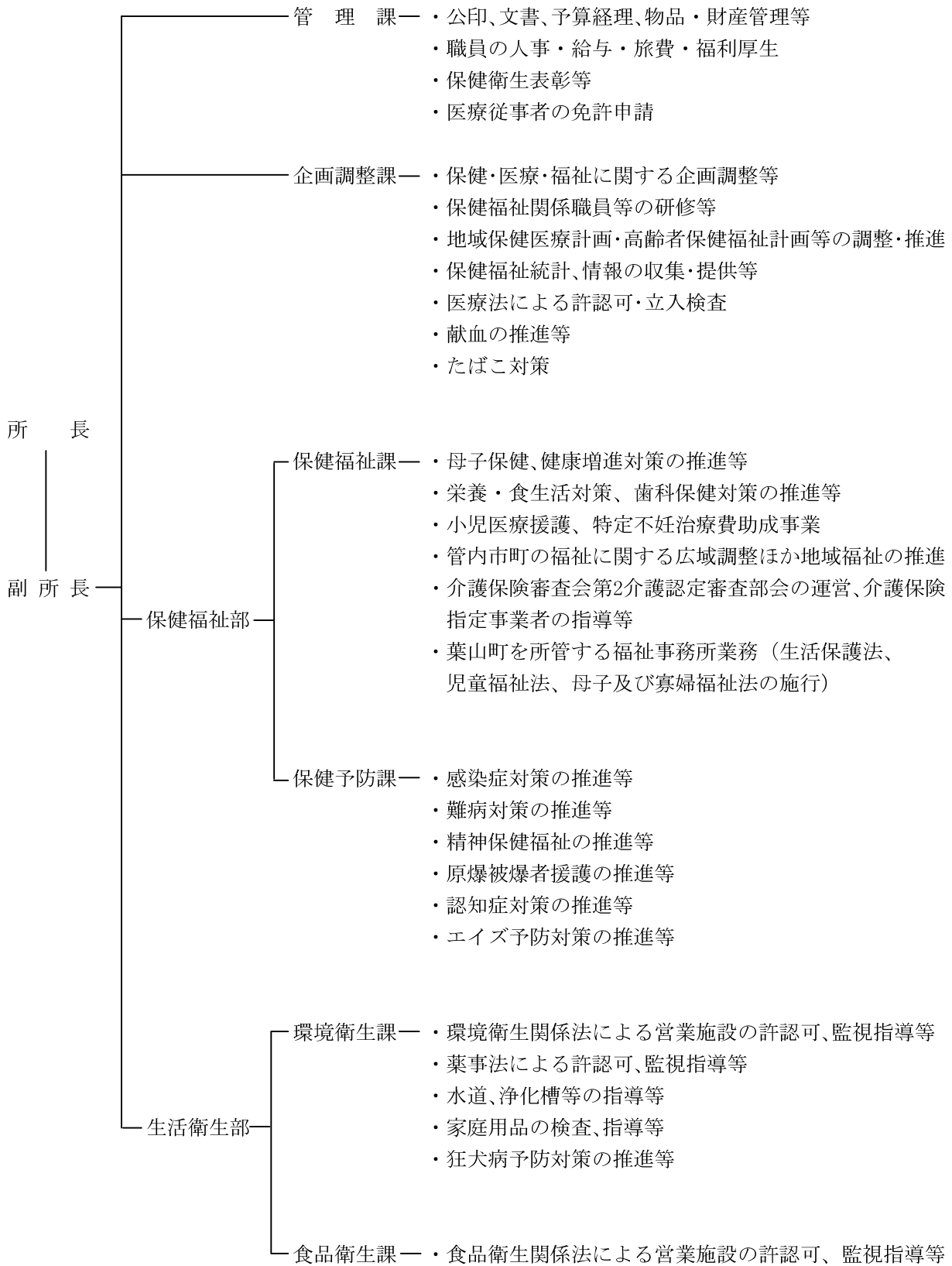
ウ 生活福祉業務

葉山町

エ 神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例関係

横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町の 3 市 1 町

(3) 機構及び分掌事務



(4) 職種別職員配置状況

平成 22 年 4 月 1 日現在

職 種	一 般 事 務 職	福 社 職	医 師	歯 科 医 師	診 療 放 射 線 技 師	歯 科 衛 生 士	栄 養 士	保 健 師	狂 犬 病 予 防 員	衛 生 監 視 員	自 動 車 運 転 員	臨 時 的 任 用 職 員	再 任 用 職 員	非 常 勤 職 員	計
職員数	20	5	2	1	1	1	2	12	1	11	1	1	5	15	78

(5) 施設の状況

所 在 地	鎌倉市由比ガ浜 2-16-13		
土 地	面 積	1,546.36 m ²	
	取得年月日	1952 (昭和 27) 年 9 月 10 日	
建 物	構 造	本館 鉄筋コンクリート	車庫他 コンクリートブロック他
	規 模	本館 地下 1 階地上 3 階	車庫他 平屋 4 棟
	面 積	本館 1,318.22 m ²	車庫他 72.26 m ²
	取得年月日	本館 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日	車庫他 1963 (昭和 38) 年 3 月 30 日

(6) 経理状況

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
計	21,328,411	計	202,236,372
一般会計	21,328,411	一般会計	202,213,872
負担金	1,110,078	総務管理費	16,167,257
衛生費負担金	1,110,078	一般管理費	16,167,257
使用料	21,833	社会福祉費	27,558,073
衛生使用料	21,833	社会福祉総務費	27,558,073
手数料	19,301,180	児童福祉費	4,851,726
衛生手数料	19,301,180	児童措置費	3,642,572
財産売払収入	346	母子福祉費	1,209,154
物品売払収入	346	障害福祉費	3,409,460
立替収入	190,561	障害福祉総務費	3,409,460
衛生立替収入	190,561	老人福祉費	1,162,853
雑入	704,413	老人保健福祉総務費	739,053
雑入	704,413	介護保険事業費	423,800
		生活保護費	110,585,236
		生活保護総務費	4,479,079
		扶助費	106,106,157
		公衆衛生費	8,981,826
		公衆衛生総務費	1,848,646
		母子保健指導費	957,192
		予防費	3,736,658
		精神保健福祉費	1,433,330
		生活習慣病対策費	260,000
		衛生研究所費	746,000
		環境衛生費	770,630
		生活衛生指導費	770,630
		保健所費	17,501,971
		保健所費	17,501,971
		医薬費	306,280
		医務費	60,580
		救急医療対策費	91,700
		薬務費	154,000
		雇用対策費	5,458,844
		雇用対策事業費	5,458,844
		土木管理費	5,459,716
		県有施設管理費	5,459,716
		母子寡婦福祉資金会計	22,500
		事務費	22,500
		貸付事務費	22,500

2 圏域の概要

(1) 圏域区域



(2) 面積及び人口等

2010(平成22)年10月1日現在

市町名	面積 (km ²)	人 口 (人)			世帯数 (世帯)	一世帯 当たり 人数 (人)	人口密度 (人/km ²)	一年間の 人口増 (人)
		男	女	計				
横須賀市	100.68	208,966	209,359	418,325	164,362	2.55	4,155 ▲ 1,513	
鎌倉市	39.60	82,235	92,079	174,314	72,463	2.41	4,402 ▲ 150	
逗子市	17.34	27,514	30,788	58,302	23,844	2.45	3,362 ▲ 436	
三浦市	32.28	23,360	24,992	48,352	17,884	2.70	1,498 ▲ 319	
葉山町	17.06	15,426	17,340	32,766	12,539	2.61	1,921 ▲ 377	
計	206.96	357,501	374,558	732,059	291,092	2.51	3,537 ▲ 1,741	
神奈川県	2,415.84	4,544,545	4,503,786	9,048,331	3,844,525	2.35	3,745 ▲ 43,155	

県勢要覧・神奈川県人口統計調査

(3) 人口の推移

各年10月1日現在

年次別	横須賀市		鎌倉市		逗子市		三浦市		葉山町		計	
	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率	人口	対前年 増加率
1990年 (平成2)	433,358	▲ 0.1	174,307	▲ 0.8	56,704	▲ 1.3	52,440	0.9	29,536	▲ 0.4	746,345	▲ 0.3
1995年 (平成7)	432,193	▲ 0.7	170,319	▲ 0.9	56,577	0.1	54,152	▲ 0.3	29,884	▲ 0.5	743,125	▲ 0.6
2000年 (平成12)	428,645	▲ 0.4	167,583	0.0	57,281	▲ 0.5	52,253	▲ 1.0	30,413	0.5	736,175	▲ 0.3
2005年 (平成17)	426,162	▲ 0.6	171,122	0.7	58,025	▲ 0.8	49,869	▲ 1.1	31,532	0.1	736,710	▲ 0.3
2006年 (平成18)	423,151	▲ 0.7	172,820	1.0	58,406	0.7	49,646	▲ 0.4	31,710	0.6	735,733	▲ 0.1
2007年 (平成19)	422,040	▲ 0.3	173,263	0.3	58,600	0.3	49,422	▲ 0.5	31,919	0.7	735,244	▲ 0.1
2008年 (平成20)	420,719	▲ 0.3	173,439	0.1	58,660	0.1	49,014	▲ 0.8	32,234	1.0	734,066	▲ 0.2
2009年 (平成21)	419,838	▲ 0.2	174,164	0.4	58,738	0.1	48,671	▲ 0.7	32,389	0.5	733,800	0.0
2010年 (平成22)	418,325	▲ 0.4	174,314	0.1	58,302	▲ 0.7	48,352	▲ 0.7	32,766	1.2	732,059	▲ 0.2

神奈川県人口統計調査

(4) 5歳階級別人口

2010(平成22)年1月1日現在

市町名		0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
横須賀市	男	8,449	9,255	9,528	11,122	11,979	12,017	13,491	16,888	14,710
	女	7,888	8,787	9,033	9,273	10,064	10,393	12,182	15,240	13,502
	計	16,337	18,042	18,561	20,395	22,043	22,410	25,673	32,128	28,212
鎌倉市	男	3,472	3,729	3,524	3,405	3,537	3,918	5,054	6,779	6,674
	女	3,326	3,612	3,399	3,196	3,705	4,156	5,414	7,240	6,748
	計	6,798	7,341	6,923	6,601	7,242	8,074	10,468	14,019	13,422
逗子市	男	1,078	1,318	1,344	1,246	1,189	1,074	1,558	2,096	2,207
	女	1,111	1,202	1,291	1,110	1,144	1,157	1,717	2,360	2,328
	計	2,189	2,520	2,635	2,356	2,333	2,231	3,275	4,456	4,535
三浦市	男	719	911	1,048	1,230	1,235	1,091	1,227	1,546	1,465
	女	739	852	988	1,114	1,158	1,098	1,172	1,455	1,414
	計	1,458	1,763	2,036	2,344	2,393	2,189	2,399	3,001	2,879
葉山町	男	710	763	780	659	545	581	792	1,218	1,258
	女	704	773	714	650	563	668	967	1,398	1,315
	計	1,414	1,536	1,494	1,309	1,108	1,249	1,759	2,616	2,573
計	男	14,428	15,976	16,224	17,662	18,485	18,681	22,122	28,527	26,314
	女	13,768	15,226	15,425	15,343	16,634	17,472	21,452	27,693	25,307
	計	28,196	31,202	31,649	33,005	35,119	36,153	43,574	56,220	51,621

市町名		45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
横須賀市	男	12,855	12,211	14,296	16,482	15,631	12,153	9,102	8,955	209,171
	女	11,990	11,435	14,462	17,799	16,852	13,303	11,215	16,790	210,230
	計	24,845	23,646	28,758	34,281	32,483	25,456	20,317	25,745	419,401
鎌倉市	男	5,797	4,725	5,183	6,294	5,930	5,212	4,245	4,823	82,419
	女	5,641	4,850	5,679	7,452	7,262	6,092	5,328	8,483	91,662
	計	11,438	9,575	10,862	13,746	13,192	11,304	9,573	13,306	174,081
逗子市	男	1,989	1,589	1,739	2,151	2,092	1,757	1,477	1,720	27,791
	女	1,988	1,690	1,866	2,512	2,525	2,096	1,892	2,895	30,998
	計	3,977	3,279	3,605	4,663	4,617	3,853	3,369	4,615	58,789
三浦市	男	1,420	1,469	2,010	2,197	1,987	1,591	1,266	1,186	23,604
	女	1,398	1,476	2,029	2,191	2,120	1,739	1,572	2,455	24,975
	計	2,818	2,945	4,039	4,388	4,107	3,330	2,838	3,641	48,579
葉山町	男	1,035	853	981	1,201	1,277	1,008	760	806	15,227
	女	1,025	880	1,086	1,548	1,421	1,113	810	1,518	17,153
	計	2,060	1,733	2,067	2,749	2,698	2,121	1,570	2,324	32,380
計	男	23,096	20,847	24,209	28,325	26,917	21,721	16,850	17,490	358,212
	女	22,042	20,331	25,122	31,502	30,180	24,343	20,817	32,141	375,018
	計	45,138	41,178	49,331	59,827	57,097	46,064	37,667	49,631	733,230

(注) 計には「年齢不詳」を含む。

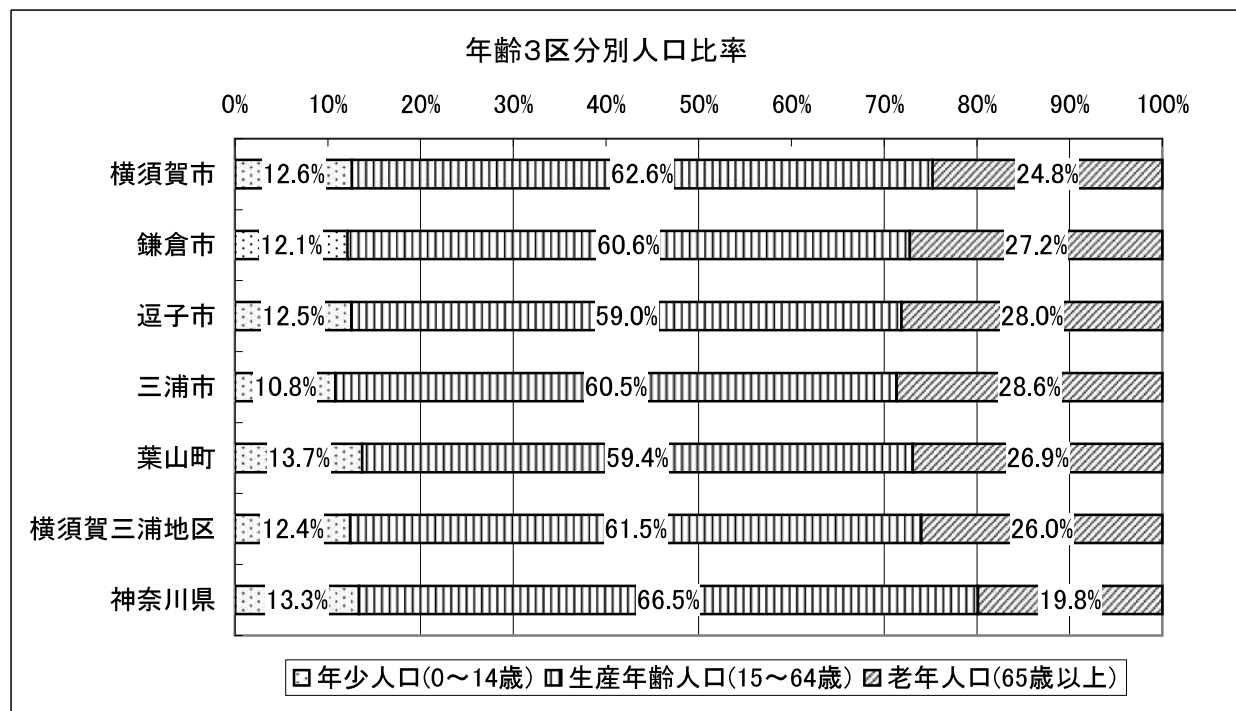
神奈川県年齢別人口統計調査結果報告

(5) 年齢(3区分)別人口及び構成比

2010(平成22)年1月1日現在

団体名		年少人口(0~14歳)		生産年齢人口(15~64歳)		老年人口(65歳以上)		計
		数	率	数	率	数	率	
横須賀市	男	27,232	13.0%	136,051	65.0%	45,841	21.9%	209,171
	女	25,708	12.2%	126,340	60.1%	58,160	27.7%	210,230
	計	52,940	12.6%	262,391	62.6%	104,001	24.8%	419,401
鎌倉市	男	10,725	13.0%	51,366	62.3%	20,210	24.5%	82,419
	女	10,337	11.3%	54,081	59.0%	27,165	29.6%	91,662
	計	21,062	12.1%	105,447	60.6%	47,375	27.2%	174,081
逗子市	男	3,740	13.5%	16,838	60.6%	7,046	25.4%	27,791
	女	3,604	11.6%	17,872	57.7%	9,408	30.4%	30,998
	計	7,344	12.5%	34,710	59.0%	16,454	28.0%	58,789
三浦市	男	2,678	11.3%	14,890	63.1%	6,030	25.5%	23,604
	女	2,579	10.3%	14,505	58.1%	7,886	31.6%	24,975
	計	5,257	10.8%	29,395	60.5%	13,916	28.6%	48,579
葉山町	男	2,253	14.8%	9,123	59.9%	3,851	25.3%	15,227
	女	2,191	12.8%	10,100	58.9%	4,862	28.3%	17,153
	計	4,444	13.7%	19,223	59.4%	8,713	26.9%	32,380
計	男	46,628	13.0%	228,268	63.7%	82,978	23.2%	358,212
	女	44,419	11.8%	222,898	59.4%	107,481	28.7%	375,018
	計	91,047	12.4%	451,166	61.5%	190,459	26.0%	733,230
神奈川県	男	613,018	13.5%	3,096,164	68.2%	801,911	17.7%	4,536,511
	女	585,067	13.1%	2,890,526	64.6%	982,883	22.0%	4,471,621
	計	1,198,085	13.3%	5,986,690	66.5%	1,784,794	19.8%	9,008,132

(注) 計には「年齢不詳」を含む。



(6) 保健・医療・福祉施設総括表

ア 保健福祉関係

種類		市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計	
保健福祉	訪問看護ステーション		13	7	3	4	—	27	
	保健センター		—	—	1	—	1	2	
	健康福祉センター		4	—	—	—	—	4	
	福祉センター		—	1	—	—	—	1	
高齢者	介護老人保健施設 (特別養護老人ホーム)		9	5	2	2	1	19	
	介護療養型医療施設		17	8	2	3	2	32	
	介護療養型医療施設 養護老人ホーム		2	2	—	—	—	4	
	軽費老人ホーム		2	—	—	1	—	3	
	老人デイサービスセンター		—	2	—	—	—	2	
	地域包括支援センター		53	21	4	9	1	88	
	老人福祉センター		13	5	2	2	1	23	
障害者	*旧法指定 施設	身体障害者療護施設(入所)		—	—	—	—	—	0
		身体障害者授産施設(入所)		—	—	—	—	—	0
		知的障害者更正施設		5	2	—	—	—	7
		知的障害者授産施設		3	2	—	—	1	6
	指定障害福祉サービス	精神障害者小規模通所授産施設		1	1	—	—	—	2
		居宅介護		48	25	9	2	—	84
		重度訪問介護		47	25	9	2	—	83
		行動援護		1	2	1	—	—	4
		重度障害者等包括支援		—	—	—	—	—	0
		児童デイサービス		3	2	—	1	—	6
		短期入所(ショートステイ)		7	5	2	—	1	15
		共同生活介護(ケアホーム)		25	5	1	—	—	31
		障害者支援施設(施設入所支援)		6	1	—	—	—	7
		障害者支援施設(昼間実施サービス)		8	1	—	—	—	9
		共同生活援助		11	6	1	—	—	18
		療養介護		—	—	—	—	—	0
		生活介護		2	4	3	1	—	10
		自立訓練(機能訓練)		—	—	—	—	—	0
		自立訓練(生活訓練)		—	—	—	—	—	0
		就労移行支援		—	2	1	—	—	3
就労継続支援(A型)		—	3	1	—	—	4		
就労継続支援(B型)		5	6	2	1	1	15		
相談支援		10	3	2	—	—	15		
身体障害者ケア付住宅		—	—	—	—	—	0		
地域活動支援センター		4	2	3	1	—	10		
障害者地域作業所		25	10	1	3	1	40		
児童	保育所(公立)		11	7	2	—	1	21	
	保育所(私立)		30	15	3	4	1	53	
	助産施設		4	1	—	1	—	6	
	児童自立支援施設		—	—	—	—	—	0	
	児童養護施設		2	1	—	—	1	4	
	知的障害児通園施設		—	1	—	—	—	1	

※ 旧法指定施設については、平成24年3月31日まで、経過措置期間が設けられています。

イ 医療関係

施設		市町	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
医療施設等	病院		12	13	2	2	1	30
	一般診療所		323	172	62	28	16	601
	歯科診療所		241	127	42	23	13	446
	助産所		13	8	4	—	—	25
薬事施設	歯科技工所		77	22	7	9	6	121
	薬局		177	80	34	20	5	316
施術所	医薬品販売業		82	18	5	9	4	118
	あんま・はり・きゅう 柔道整復		332	261	107	36	45	781
			103	42	12	11	4	172

第2章 管理課

1 表彰

(1) 神奈川県保健衛生表彰（知事）

（期日：2010(平成22)年11月16日（火） 場所：神奈川県総合医療会館）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
工藤 房子	医師	医院開設
高橋 昌治	診療放射線技師	病院勤務
金子 英生	獣医師	病院開設
稲葉 章	浄化槽検査員	団体役員
大場 秀義	飲食店営業	飲食店経営
木内 恵子	食生活改善推進員	団体役員

(2) 神奈川県保健衛生表彰（保健福祉事務所長）

（期日：2010(平成22)年11月25日（木） 場所：鎌倉保健福祉事務所）

氏名（施設名）	職種（業種）	備考
伊藤 昌平	医師	診療所管理者
間中 正章	医師	診療所管理者
百衣 照雄	歯科医師	歯科診療所管理者
堀内 章	歯科医師	歯科診療所管理者
関 彰彦	薬剤師	薬局管理者
島津 さおり	看護師	病院勤務
曾根 光子	准看護師	診療所勤務
岩下 秀夫	診療放射線技師	病院勤務
矢作 一實	鍼灸マッサージ師	施術所管理者
田中 儀範	獣医師	動物病院管理者
関根 高彦	浄化槽検査員	団体勤務
糟谷 直子	美容師	美容所経営
山口 薫	食品衛生指導員	学校勤務
柳 一男	栄養士	飲食店経営
森 勝美	食生活改善推進員	団体役員
笹本 陽子	精神福祉ボランティア	地域作業所職員
みにこむ		飲食店営業

(3) 神奈川県献血推進功労者表彰（知事）

（期日：2010(平成22)年11月27日（土） 場所：N I S S A Nホール）

鎌倉ライオンズクラブ

(4) 神奈川県献血推進功労者表彰（保健福祉事務所長）

（期日：2010(平成22)年11月25日（木） 場所：鎌倉保健福祉事務所）

学校法人鎌倉女子大学

鎌倉西ライオンズクラブ

2 免許事務取扱い件数

項目	医 師	齒 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	管 理 栄 養 士	准 看 護 師	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	齒 科 技 工 士	指 導 員	受 胎 調 節 実 地	計
登録申請	39	17	6	23	3	62	22	5	19	5	5	39	17	4	1	2	—	—	269
籍訂正	12	3	7	10	5	64	8	4	10	—	2	—	—	2	1	—	—	—	128
再交付	2	1	5	—	1	7	—	1	3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	21
登録抹消	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
計	54	21	18	33	9	133	30	10	32	5	7	39	18	6	2	2	0	—	419

第3章 企画調整課

企 画 調 整 課 業 務

保健福祉事務所は、保健・福祉を一体的に推進し、広域的・専門的な役割を持つ県機関として、平成9年4月、それまでの保健所と福祉事務所等を統合して設置されました。

企画調整課は、三浦半島の4市1町(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)を圏域とする保健・医療・福祉の総合的な企画調整機能を始めとして、保健福祉事務所業務に関する調整や情報提供、保健・福祉人材の育成、さらに、保健統計や医事関係事務などの業務を行っています。

1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

地域保健医療計画の推進など保健・医療・福祉に係る重要事項を検討協議するため、三浦半島地区保健医療福祉推進会議を開催しました。

また、管内保健福祉サービス関係機関の相互連携の推進や管内保健師業務の調整、地域の健康課題を把握するための地域診断事業等を行いました。

2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発

市町広報紙・地域FM放送、所ホームページ等を通じて情報提供を行うとともに、保健福祉事務所年報及び広報紙『うみかぜ』を発行するなど、様々な媒体を用いて普及啓発に努めました。

3 保健・福祉人材の育成

保健衛生に関わる管内市町等職員の資質向上のため、市町保健師の研修を実施するとともに、栄養士、歯科衛生士等の保健福祉関係者に対する研修を実施したほか、看護、保健福祉関係の実習生の受入れ等を行いました。

4 保健統計等

国による人口動態統計など、保健福祉に係る各種統計調査関係業務を実施しました。

5 医務・献血関係

病院、診療所、施術所等の開設、変更等に伴う許認可等事務や病院、診療所に対する立入検査を行ったほか、献血の促進を図りました。

6 受動喫煙防止条例施行等に関する普及啓発

受動喫煙防止条例に関する一般県民向け、事業者向けの普及啓発活動を行いました。

また、喫煙防止対策を推進するため、禁煙・防煙に関する普及啓発を行いました。

1 保健・医療・福祉施策に関する総合的企画調整

(1) 三浦半島地区保健医療福祉推進会議

平成20年3月に策定した「三浦半島地区地域保健医療計画」の21年度の実施状況の評価を行うとともに、管内医療体制について各団体との情報共有を図りました。

月 日	構 成 委 員 所 属	内 容	出席人員
2月16日	医師会 病院団体 歯科医師会 薬剤師会 社会福祉協議会 社会福祉施設 労働基準監督署 教育事務所 市町 鎌倉・三崎保健福祉事務所	・三浦半島地区地域保健医療計画の進行状況について	24

(2) 保健福祉サービス連携調整会議

管内における保健・医療・福祉関係者の連携による各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、保健福祉サービス連携調整会議・部会を開催しました。

部 会 名	担 当 課	掲載ページ
母子保健部会	保健福祉課	29
歯科保健部会		38
食生活対策部会		33
高齢者保健福祉部会		32
地域精神保健福祉部会	保健予防課	60

※ 詳細については、各部会のページに記載

(3) 地域保健師業務連絡会議

管内の保健・福祉における保健師業務の情報交換、連絡協議の場として会議及び研修会を開催しました。

<会議>

月 日	場 所	内 容	出席人員
8月24日	鎌倉保健福祉事務所	議題1 保健師の専門性と人材育成について ① 保健師の活動基盤に関する基礎調査結果 ② 保健師の研修体制について ・平成21年度地域保健師業務連絡会議研修会・研究会実施報告及び22年度実施計画(案) ③ 管内の新人保健師の育成について 議題2 その他	17

<合同研究会(湘南ブロック研修会)> ※茅ヶ崎・三崎保健福祉事務所と合同企画

月 日	場 所	内 容	出席人員
9月24日	鎌倉保健福祉事務所	・講演「災害時に備えたスキルアップ」 ～過去の災害からの健康課題と保健医療従事者の役割を学ぶ～ 講師 国立保健医療科学院 公衆衛生看護部 看護マネジメント室長 奥田博子氏	21
1月31日	茅ヶ崎保健福祉事務所	・講演「効果的な保健指導教材」 ～どんなリーフレットをつくれれば行動変容を起すか～ 講師 国立保健医療科学院 生涯保健部 主任研究官 須藤紀子氏	22
2月1日	茅ヶ崎保健福祉事務所	・講演「保健師の専門性を高めるOJT(職場内における現任教育)について」 講師 国立保健医療科学院 公衆衛生看護部 看護マネジメント室長 奥田博子氏	22
3月18日	三崎保健福祉事務所	・講演「市町村現場における健康政策形成」 ～静岡県小山町の実践～ 講師 静岡県小山町住民福祉部健康課長 羽佐田武氏	震災のため中止

<管内保健師研修会>

管内で新任期保健師研修会を開催せず、茅ヶ崎保健福祉事務所の研修会に管内から4人参加。

月 日	場 所	内 容	参加人員
2月1日	茅ヶ崎保健福祉事務所	<新任期保健師研修> ・講話「健康教育の効果的な展開と地区活動」 講師 国立保健医療科学院 公衆衛生看護部 看護マネジメント室長 奥田博子氏	21

(4) 保健師活動実績

ア 家庭訪問・対象別件数

項目	感染症	結核	精神障害	心身障害					生活習慣病		難病	小児特定				その他疾病	未熟児		妊産婦	その他	合計
				1歳未満	6歳未満	18歳以下	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上		1歳未満	6歳未満	18歳未満	19歳以上		1歳未満	1歳以上			
件数	6	43	112	1	13	2	6	1	0	0	78	1	11	4	0	7	105	52	4	18	464

訪問内容別再掲														
精神障害			難病				介護保険		児童虐待	小児アレルギー疾患			高齢者虐待	
社会復帰	認知症	アルコール	膠原病	血液系	循環器	神経系	消化器	専門調査		苦情等調査	喘息	皮膚炎		アトピー性
43	59	1	0	0	0	78	0	0	0	4	0	3	1	0

イ 所内指導

項目	感染症	結核	精神障害	認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康	その他	計	
面接	6	49	46	9	1	9	1	125	6	3	0	1	24	2	15	0	0	0	2	299
電話	70	642	419	244	8	17	1	469	27	49	1	5	287	27	57	16	58	2	56	2,455
文書	1	65	2	0	0	0	0	38	0	35	0	0	118	1	4	0	0	0	0	264
計	77	756	467	253	9	26	2	632	33	87	1	6	429	30	76	16	58	2	58	3,018

(5) 横須賀・三浦地域災害時要援護者対策市町担当者会議

横須賀三浦地区の各市町の防災部局及び福祉部局と災害時要援護者対策の取組み状況や課題について意見交換を行いました。

月日	場所	内容	出席人員
2月8日	鎌倉保健福祉事務所 講堂	・鎌倉保健福祉事務所における取組み ・各市町における取組み ・その他	21

(6) 地域の健康課題を把握するための地域診断事業

保健衛生統計等各種統計データの収集、整理及び分析を行うことにより、地域の健康課題を総合的に把握するための広域的な地域診断を行いました。

ア 保健情報データベースの更新

人口、人口動態（出生、死亡、婚姻・離婚）、基本健康診査、乳幼児健康診査、国民健康保険疾病統計、介護保険等のデータを更新しました。

2 保健・医療・福祉に関する情報提供と普及啓発

(1) 市町広報紙・地域FM放送等による情報の提供

広報媒体名	登 載 日
県のたより「かながわ情報館」	毎月1日
広報かまくら「保健コーナー」	毎月1日
鎌倉衛生時報	毎月15日（1月のみ1日）
広報ずし	毎月1日
健康はやま「鎌倉保健福祉事務所コーナー」	偶数月1日
かまくらFM「かまくらじお」	毎月（82.8MHz）
湘南ビーチFM「トークイン葉山」	毎月（78.9MHz）
鎌倉ケーブルコミュニケーションズ（CATV）	毎月
三浦半島だより	6、9、12、3月

(2) 広報紙「うみかぜ」の発行

発行年月日	内 容
平成22年8月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒警報発令中 ・元気に夏を乗り切るために～夏バテ・脱水対策のポイント～ ・さくらんぼの会（ダウン症児の親子の会） ・海水浴場のたばこ対策に関する新たなルールがスタートしました ・自殺対策シンポジウム「生きるを支える 鎌倉・逗子・葉山」 ・8月～10月の行事・検診のお知らせ
平成22年12月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙を始めるには、遅すぎることはありません ・正しい手洗いで、感染症・ノロウイルス予防！！ ・風邪をひいた時の食事のポイント～栄養士からのアドバイス～ ・獣医師からのお願い ・12月～2月の行事・検診のお知らせ
平成23年3月1日号	<ul style="list-style-type: none"> ・はしか（麻しん）・風しんの混合ワクチンの予防接種を受けましょう！ ・飛んだ災難～花粉症に注意しましょう～ ・飼い犬の狂犬病予防注射について ・もっと知ってほしい乳がんのこと ・3月～5月の行事・検診のお知らせ

3 保健・福祉人材の育成

(1) 保健衛生研修

ア 地域母子保健対策推進研修

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月25日	鎌倉保健 福祉事務所	テーマ 「子どもの虐待を予防していく ために～家庭訪問・育児相談・ 乳幼児健康診査でのチェックポ イントと親子支援～」	徳永家族問題相談室 室長 徳永雅子氏	34

イ 在宅歯科衛生士研修・在宅栄養士研修(合同開催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月8日	鎌倉保健 福祉事務所	「小児の摂食機能について」	昭和大学歯学部口腔衛生学教室 准教授 弘中祥司氏	53
9月21日		「高齢者の食事支援～摂食、嚥 下の機能について～」	地域栄養ケアPEACH厚木 代表 江頭文江氏	50

ウ 地域保健福祉実務研修

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月27日	鎌倉保健 福祉事務所	<感染症予防研修> 「小児に見られる感染症と感染 症予防対策、動物由来感染症、 消毒、手洗いの実際」	当所 職員	27
1月28日		<接遇研修> 「相談・接遇について～苦情相 談・対応困難事例の対応～」	サート企業株式会社 取締役 佐藤万里氏	21
3月7日		<精神保健研修> 地域で取り組む自殺対策 『こころサポーター養成研修』	国立病院機構久里浜アルコール症 センター 医師 遠山朋海氏 精神保健福祉センター専門福祉士	61

(2) 実習生指導

ア 合同オリエンテーション

月 日	参加人員
4月9日	35
9月3日	43
計	78

イ 保健福祉事務所実習

種 別	施設数	実習生数
看 護 学 生	6	46
保 健 師 学 生	6	31
社会福祉士学生	2	2
栄 養 士 学 生	4	14
計	18	93

4 保健統計等

(1) 人口動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成22年4月～ 平成23年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	指定統計として出生、死亡、婚姻、離婚の各届出から移記作成され、住民の健康に関する特性や問題点を把握

(2) 衛生行政報告例（母体保護に関する統計部分）

対象年月	対 象	内 容
平成22年4月～ 平成23年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）の産婦人科医	母体保護法の規定による不妊手術及び妊娠中絶手術の届出件数

(3) 国民生活基礎調査

対象年月	対 象	内 容
平成22年6月3日	厚生労働省が無作為抽出した地区内（鎌倉市の一部、逗子市の一部）の190世帯	健康、医療、福祉、年金等国民生活の基礎的事項の把握

(4) 医療施設動態調査

対象年月	対 象	内 容
平成22年4月～ 平成23年3月	病院、一般診療所、歯科診療所	医療施設の分布及び整備の実態並びに医療施設の診療機能の把握

(5) 病院報告

対象年月	対 象	内 容
平成22年4月～ 平成23年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）の病院16ヶ所及び療養病床を有する診療所1ヶ所	保健所及び市町における地域保健・健康増進事業の実施状況の把握

(6) 地域保健・健康増進事業報告

対象年月	対 象	内 容
平成22年4月～ 平成23年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	保健所及び市町における地域保健・健康増進事業の実施状況の把握

(7) 福祉行政報告例

対象年月	対 象	内 容
平成22年4月～ 平成23年3月	管内（鎌倉市、逗子市、葉山町）	社会福祉行政の実態の把握

※ 備考 各調査結果は厚生労働省の報告書として公表されます。
公表時期等詳細は、保健福祉事務所までお問い合わせください。

5 医務・献血関係

(1) 医療施設数・人口10万対率（市町別）

市町名	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	13	7.5	172	98.7	127	72.9	9	5.2	261	149.8	42	24.1	24	13.8
逗子市	2	3.4	62	106.2	42	71.9	4	6.8	107	183.2	12	20.5	7	12.0
葉山町	1	3.0	16	48.7	13	39.6	-	-	45	137.1	4	12.2	6	18.3
計	16	6.0	250	94.2	182	68.6	13	4.9	413	155.6	58	21.8	37	13.9

(2) 医療施設数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病院		一般診療所		歯科診療所		助産所		あんま・はり・きゅう		柔道整復		歯科技工所	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
1995年 (平成7)	18	7.1	226	88.5	160	62.7
2000年 (平成12)	17	6.7	231	90.4	164	64.2	5	2.0	272	106.4	41	16.0	38	14.9
2005年 (平成17)	18	6.9	244	93.5	174	66.7	6	2.3	325	124.5	37	14.2	40	15.3
2006年 (平成18)	17	6.5	247	94.3	172	65.6	6	2.3	325	124.0	35	13.4	39	14.9
2007年 (平成19)	17	6.5	247	93.8	176	66.8	11	4.7	335	127.2	37	14.1	41	15.6
2008年 (平成20)	17	6.4	250	94.6	181	68.5	12	4.5	351	132.9	44	16.7	42	15.9
2009年 (平成21)	17	6.4	256	96.7	179	67.6	12	4.5	363	137.2	51	19.3	43	16.2
2010年 (平成22)	17	6.4	252	94.9	182	68.5	12	4.5	382	143.8	56	21.1	43	16.2
2011年 (平成23)	16	6.0	250	94.2	182	68.6	13	4.9	413	155.6	58	21.8	37	13.9

(3) 病床数・人口10万対率（市町別）

市町名 施設名	病 院										一般診療所		計			
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率		
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
管内総計	1,423	536.0	677	255.0	90	33.9	0	0	0	0	2,190	824.9	99	37.3	2,289	862.2
鎌倉市	1,322	758.7	580	332.9	90	51.6	0	0	0	0	1,992	1143.2	56	32.1	2,048	1,175.3
聖テレジア病院			143								143					
鎌倉ヒロ病院	49		30								79					
鎌倉病院	30		55								85					
恵風園胃腸病院			51								51					
鈴木病院	54		71								125					
清川病院	89		109								198					
大船中央病院	294										294					
額田記念病院			58								58					
ふれあい鎌倉 ホスピタル	112										112					
林間病院					90						90					
小さき花の園	52										52					
湘南記念病院	100		63								163					
湘南鎌倉総合病院	542										542					
逗子市	36	61.6	97	166.1	0	0	0	0	0	0	133	227.7	43	73.6	176	301.4
逗子病院	36										36					
青木病院			97								97					
葉山町	65	198.0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	198.0	0	0	65	198.0
葉山ハートセンター	65										65					

(注) 2009年1月に、佐藤病院はふれあい鎌倉ホスピタルに名称が変更されました。

(4) 病床数・人口10万対率年次推移

各年3月31日現在

年次別	病 院										一般診療所		総 数			
	一 般		療 養		精 神		結 核		感 染 症		小 計		数	率		
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率				
1995年 (平成7)	1,879	736.0			124	48.6	54	21.2	30	11.8	2,087	817.4	231	90.5	2,318	908.0
2000年 (平成12)	1,882	736.3			124	48.5	54	21.1			2,060	805.9	257	100.5	2,317	906.5
2005年 (平成17)	1,417	543.0	621	238.0	124	47.5	24	9.2			2,186	837.7	212	81.2	2,398	919.0
2006年 (平成18)	1,410	538.1	635	242.2	90	34.3	24	9.2			2,159	824.0	193	73.7	2,352	897.7
2007年 (平成19)	1,550	588.7	605	229.8	90	34.2					2,245	852.6	170	64.6	2,415	917.2
2008年 (平成20)	1,550	586.8	603	228.3	90	34.1					2,243	849.1	137	51.9	2,380	901.0
2009年 (平成21)	1,505	568.7	651	246.0	90	34.0					2,246	848.7	132	49.9	2,378	898.6
2010年 (平成22)	1,423	535.8	716	269.6	90	33.9					2,229	839.3	111	41.8	2,340	881.1
2011年 (平成23)	1,423	536.0	677	255.0	90	33.9					2,190	824.9	99	37.3	2,289	862.2

(注) 1999年4月に、管内にあった感染症病床は廃止されました。

(注) 2003年までは、療養病床は一般病床に含まれています。

(注) 2006年10月に、管内にあった結核病床は廃止されました。

(5) 医務関係許可等取扱い件数

	許可申請			届 出			エックス線装置			計
	開設	変更	構造設備使用	開設	変更	休止廃止再開	設置	廃止	変更	
病 院	2	17	19	2	14	3	37	33	6	133
一 般 診 療 所	4	5	1	11	37	18	6	9	1	92
歯 科 診 療 所	—	—	—	9	14	9	21	17	1	71
助 産 所	—	—	—	4	—	3				7
あんま・はり・きゅう				44	20	15				79
柔 道 整 復				3	14	1				18
歯 科 技 工 所				—	—	—				0
計	6	22	20	73	99	49	64	59	8	400

(6) 立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法第25条の規定に基づき、医療従事者の適正配置、構造設備、防災対策等について立入検査を実施しました。

- ・実施期間 平成22年9月～平成23年3月
- ・実施施設数

	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
病 院	13	2	1	16
有 床 診 療 所	3	1	—	4
人工透析診療所	—	1	—	1
特定眼科診療所	—	—	—	—
計	16	4	1	21

※ 逗子市の有床診療所は人工透析診療所を兼ねている。

(参考) 神奈川県立入検査要綱に基づく対象施設及び実施時期

- ◎ 病院 : 病床を20床以上有する医療施設 毎年
- ◎ 有床診療所 : 19床以下の病床を有する医療施設 3年に1回以上
- ◎ 人工透析診療所 : 人工透析設備を有する医療施設 3年に1回以上
- ◎ 特定眼科診療所 : 要綱に定める要件を満たす医療施設 5年に1回以上

(7) 医療従事者数・人口10万対率(市町別)

2010(平成22)年12月末現在

市町名	医 師		歯科医師		薬剤師		保健師		助産師		看護師		准看護師	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
鎌倉市	437	250.7	163	93.5	588	337.3	49	28.1	52	29.8	1,123	644.2	274	157.2
逗子市	79	135.5	50	85.8	106	181.8	19	32.6	14	24.0	164	281.3	65	111.5
葉山町	37	112.9	16	48.8	17	51.9	8	24.4	0	0.0	118	360.1	16	48.8
計	553	208.4	229	86.3	711	267.9	76	28.6	66	24.9	1405	529.4	355	133.8

市町名	歯科衛生士		歯科技工士	
	数	率	数	率
鎌倉市
逗子市
葉山町
計	196	73.9	34	12.8

(8) 献血数・目標数(市町別)

(単位:人)

市町名	200ml		400ml		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
鎌倉市	62	76	1,800	1,100	1,862	1,176
逗子市	13	0	328	111	341	111
葉山町	5	2	224	114	229	116
計	80	78	2,352	1,325	2,432	1,403

(9) 年次別献血数・目標数

(単位:人)

年次別	200ml		400ml		成分		計	
	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数	目標数	献血数
1995年度 (平成7)	2,950	2,283	2,960	2,526	80	52	5,990	4,861
2000年度 (平成12)	660	574	2,632	1,558	—	10	3,292	2,142
2003年度 (平成15)	235	214	2,291	1,499	—	19	2,526	1,732
2004年度 (平成16)	140	234	2,520	1,358	64	25	2,724	1,617
2005年度 (平成17)	103	222	2,379	1,432	59	6	2,541	1,660
2006年度 (平成18)	123	210	2,310	1,679	—	—	2,433	1,889
2007年度 (平成19)	123	155	2,251	1,645	—	—	2,374	1,800
2008年度 (平成20)	92	93	2,586	1,576	—	—	2,678	1,669
2009年度 (平成21)	90	103	2,460	1,564	—	—	2,550	1,667
2010年度 (平成22)	80	78	2,352	1,325	—	—	2,432	1,403

6 たばこ対策

(1) 受動喫煙防止条例の施行に係る普及啓発等

ア 一般県民向け普及啓発の実施

各種広報紙への掲載や駅前等でのチラシ配布、イベント参加等により、一般県民向け普及啓発活動を実施しました。

イ 事業者向け説明会の開催

各種講習会での説明、チラシの配布を実施しました。

- ・食品衛生責任者講習会
- ・町内会連合会会議
- ・美容所講習会
- ・海水浴場施設占用手続き説明会等

ウ 事業者向け戸別訪問の実施

飲食店、宿泊施設、娯楽施設、理美容所を中心に戸別訪問等を行い、条例の実施状況を確認しました。

訪問等件数	2,688件
-------	--------

※ 電話等による確認、再訪問件数を含みます。

(2) 地域禁煙サポート推進事業

喫煙防止対策を推進するため、禁煙相談、禁煙・防煙に関する普及啓発を行いました。

ア 禁煙・防煙講演会

対象	回数	参加人員
中学校	8	1,085
高等学校	8	1,861
その他 (逗子市禁煙教室)	1	18

※ 高等学校は、神奈川県力まるごと活用事業によります。

イ 禁煙相談

定例相談	電話相談等
1	6

※ 禁煙相談は保健予防課で担当しています。

ウ 会議の開催

地域・職域連携会議において、県のたばこ対策及び当所所管地域の店舗等の取り組み状況等を報告し、関係団体との情報交換を実施しました。

第4章 保健福祉課

保 健 福 祉 課 業 務

専門的なサービスの提供や医療・福祉の援護を行い、保健福祉サービスの向上と円滑な推進に努めました。

1 母子保健

思春期の心身の成長と生涯を通じた女性の健康増進を図るため、思春期保健事業及び生涯を通じた女性の保健相談等事業を実施し、また、特定不妊治療費の助成を行いました。

乳幼児を対象とした未熟児訪問指導、養育支援事業（子育て親子支援相談、慢性疾患児教室等）及び小児医療援護等を実施するとともに、母子保健部会において医療機器装着・医療に係わる配慮が必要な子ども達への支援について、情報・意見交換等を行いました。

2 健康増進対策

市町の健康増進事業及び介護予防事業の円滑な推進を図るため、市町ヒアリングを実施しました。

また、健康増進・高齢者保健福祉部会を三浦半島地域・職域連携推進会議と合同開催しました。

がん検診受診率向上のため、市や民間企業等と協働して、「がん検診普及セミナー」を実施しました。

3 栄養・食生活対策

地域での栄養・食生活改善を効果的に推進するため、食生活対策部会を開催し、管内の関係機関や市町と地域の健康課題を情報共有し、働き盛り世代の生活習慣病予防を検討しました。

健康増進法に基づき特定給食施設に対する個別及び集団指導の実施や、栄養表示の推進に向け、普及啓発講習会や相談、買取調査、栄養表示状況調査を実施しました。また、専門的栄養相談や栄養・食生活支援担当者研修を実施しました。

また、かながわ健康プラン21の最終評価の基礎資料とするために「県民健康・栄養調査」の対象地区について身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣状況調査を実施しました。

4 歯科保健

地域の歯科保健を推進するために歯科保健部会を開催し、「かながわ健康プラン21」歯の健康分野における目標値の達成状況等について関係機関・団体と情報を共有しました。

また、むし歯や歯周疾患の予防として、重度むし歯のリスク要因を有する幼児に対する重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業、障害児及び障害者援護施設や地域作業所の利用者を対象にした障害児者等歯科保健事業を行うとともに、妊婦及び一般成人を対象とした歯周疾患予防対策事業、歯の健康づくり事業としての歯間清掃用具の普及啓発を行いました。

5 地域福祉の事業

地域の福祉的課題に対応するため、民生委員・児童委員への負担金の交付、障害福祉相談員への研修及び連携、地域福祉コーディネーター専門研修及び成年後見制度研修の開催、バリアフリーのまちづくり推進事業の実施、横須賀・三浦障害保健福祉圏域の事業など、地域福祉の推進に向けた取り組みを行いました。

6 介護保険

介護保険審査会第2介護認定審査部会（審査請求）の運営、介護保険指定事業者に対する実地指導及び介護保険に関する相談等を行いました。

7 生活福祉の業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法・児童福祉法・母子及び寡婦福祉法に定められている援護等を行いました。

また、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、特別障害者手当等の支給事務を行いました。

1 母子保健

(1) 思春期保健事業

思春期に特有の医学的問題、性に関する不安や悩みへの相談や教諭向けの研修会を開催しました。

ア 個別相談

区分	相談方法		相談者(延べ数)			相談内容(延べ数)								事後指導(延べ数)										
	電話	面接	本人	父	その他	身体	妊	結	病	友	家	学	その他	助言指導	面接継続	電話継続	訪問継続	他機関紹介	受診勧奨	その他				
男	6	0	6	3	3	0	6	0	4	0	0	2	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	6
女	10	0	10	0	4	6	10	2	0	0	0	7	0	1	1	0	11	6	0	1	0	3	0	10
計	16	0	16	3	7	6	16	2	4	0	0	9	0	1	1	0	17	12	0	1	0	3	0	16

イ 思春期保健連絡会

月日	場所	内容	参加人員
7月23日	鎌倉保健福祉事務所	・講演「新型インフルエンザ発生における学校現場での課題」 講師 当所保健予防課職員 ・連絡会 情報交換及び情報提供	25
12月15日	鎌倉保健福祉事務所	・講演「学校に行けない、人間関係がうまく築けない子ども達への支援」 講師 加藤メンタルクリニック院長 加藤由起子氏 ・連絡会 情報交換及び情報提供	37

ウ 健康教育

月日	場所	内容	参加人員
10月28日	県立深沢高等学校	対象 高校1年生 講演「お酒とたばこについて」 講師 当所 保健師	201

(2) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

思春期から更年期に至る女性が、心身ともに健康な生活を送れるように、一般相談や専門相談を行いました。

区分	相談方法			相談者(延べ数)			相談内容(延べ数)								事後指導(延べ数)										
	電話	面接	その他	本人	その他	計	妊	避	不	性	メンタルケア	婦人科	更年期	性感	その他	助言指導	専門相談	電話継続	訪問継続	他機関紹介	医療機関	その他			
一般相談(随時)	23	—	—	23	17	6	23	4	—	1	—	3	12	1	—	2	23	11	7	1	—	2	2	—	23
専門相談(6回開設)	—	23	—	23	21	2	23	1	—	—	—	8	7	2	—	5	23	18	3	—	—	1	1	—	23

(3) 特定不妊治療費助成事業

医療保険が適用されず高額な医療費がかかる特定不妊治療を受けた夫婦に対する治療費の助成について申請を受け付けました。

市町名	件数	計
鎌倉市	111 (179)	166 (262)
逗子市	42 (63)	
葉山町	13 (20)	

()内は延件数

(4) 未熟児訪問指導

市町や医療機関から連絡のあった未熟児に保健師が訪問指導を行いました。また、鎌倉市の未熟児訪問指導については、平成19年4月以降出生した未熟児は鎌倉市役所へ権限移譲されました。

ア 未熟児把握数

*2010（平成22）年度把握数

市町名	1000g未満			1000g～ 1499g			1500g～ 1999g			2000g～ 2499g			2500g以上 の養育医療			計
	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	
鎌倉市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
逗子市	—	—	—	1	—	—	1	—	1	42	—	1	—	—	1	47
葉山町	—	—	—	—	—	1	2	—	—	10	1	—	—	—	—	14
計	0			2			4			54			1			61

イ 市町別・出生時体重別未熟児訪問数

*2010（平成22）年度訪問延数

市町名	1000g未満			1000g～ 1499g			1500g～ 1999g			2000g～ 2499g			2500g以上 の養育医療			計
	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	市町村	医療機関	その他	
鎌倉市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
逗子市	—	—	1	—	—	4	—	—	2	—	—	—	73	—	—	80
葉山町	—	—	1	—	—	1	—	—	19	—	—	—	44	—	—	65
計	2			5			21			118			0			146

(5) 小児医療援護

各種小児医療援護制度に基づき、疾病に罹患している子供が早期に適切な治療を受けられるよう医療費の給付事務を行いました。

ア 育成医療給付（事業開始1954（昭和29）年度、2006（平成18）年度 制度改正）

市町名	疾病	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	聴覚障害	音声障害	言語障害	心臓機能障害	腎臓機能障害	小腸機能障害	肝臓機能障害	その他内臓機能障害	免疫機能障害	計（人）
鎌倉市	2	—	—	9	2	—	—	—	—	—	—	—	—	13
逗子市	—	1	—	2	2	—	—	—	—	—	—	1	—	6
葉山町	1	—	1	2	—	—	—	—	—	—	—	1	—	5
計	3	1	1	13	4	0	0	0	0	0	2	0	0	24

イ 小児慢性特定疾患医療給付（事業開始1974（昭和49）年度、2005（平成17）年度 制度改正）

市町名	疾病	悪性新生物	腎疾患	ぜんそく	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液病	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	計（人）
鎌倉市	17	7	1	16	44	2	10	6	1	5	5	114	
逗子市	6	6	—	10	22	5	4	3	4	4	3	67	
葉山町	7	3	1	4	5	—	2	—	—	—	—	22	
計	30	16	2	30	71	7	16	9	5	9	8	203	

ウ 未熟児養育医療給付（事業開始1958（昭和33）年度）

市町名	1000g以下	1001g～ 1500g	1501g～ 1800g	1801g～ 2000g	2001g～ 2300g	2301g～ 2500g	2501g以上	計（人）
鎌倉市	3	5	7	5	4	—	1	25
逗子市	—	3	—	1	—	—	1	5
葉山町	—	1	—	1	1	—	—	3
計	3	9	7	7	5	0	2	33

(6) 養育支援事業

疾病等により、長期にわたり療養を必要とする児童に対し、適切な養育を確保し日常生活における健康の保持増進を図るため相談や教室を行いました。

ア 訪問指導

	未熟児	小児慢性疾患	その他	計
実人数	86	12	16	114
延べ人数	157	16	30	203

イ 養育相談

(ア) 所内指導(電話・面接・文書等)

	未熟児	小児慢性疾患	その他	計
実人数	257	16	103	376
延べ人数	429	33	149	611

(イ) 子育て親子支援相談

<把握動機>

開催回数	来所者数		保健福祉事務所					市 町 村			医療機関	その他
	実人数	人延べ	未熟児	定小疾患特	訪家問庭	その他	計	未熟児	その他	計		
6	42	57	32	1	—	5	38	1	—	1	—	3

<相談目的・処遇内容>

相談目的(延べ数)								処遇(延べ数)							
成長	発達	疾病	栄養	生活	未熟児	その他	計	な問し題	再受診	訪家問庭	確電認話	関医紹療介機	引市継町ぎへ	その他	計
43	36	1	31	—	—	72*	183	17	13	4	6	1	—	4	45

* その他内訳 歯科38、理学療法19、心理12、摂食3

ウ 集団指導

(ア) 「小さく生まれた子どものための育児教室」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月18日	鎌倉保健福祉事務所	・講義「ちいさく生まれたお子さんが健やかに育つために～育児のポイントについて～」	三須こどもクリニック院長 三須陽子氏	17
11月30日		・「先輩ママに質問!～ちいさく生まれたお子さまの育児のポイント～」 ・保護者同士の情報交換・懇談会	先輩ママ、当所保健師・歯科医師・栄養士	13

(イ) 「ふたごちゃん、みつごちゃん集まれ」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
7月2日	逗子文化プラザ交流センター	・多胎育児について 「先輩ママに質問～育児のポイント～」 ・保護者同士の情報交換・懇談会	先輩ママ、当所保健師・歯科医師・栄養士	25
1月20日	逗子市保健センター	・親子遊び 「親子遊び～親子みんなで楽しく遊ぼう♪～」 ・保護者同士の情報交換・懇談会	保育士 山崎直子氏	18

(ウ) 「こどものアレルギー教室」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
12月18日	鎌倉保健福祉事務所	・講演「食物アレルギーについてのお話と交流会」	国立病院機構横浜医療センター 小児科医師 菅井和子氏、鎌倉市立岡本保育園 園長 桂きくえ氏	52

(エ) 「障害児母親教室 (たんぼぼ教室)」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
5月24日	葉山町 保育園・教 育総合セン ター会議室 他	・「食べる力」を育むって？、食事のリズム ・歯磨き、むし歯、うがい ・生活リズムがなぜ大事？他	当所 管理栄養士 当所 歯科衛生士 当所 保健師	8
7月13日				5
2月 1日				6

(オ) 「ダウン症児の親子の会 (さくらんぼの会)」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
5月27日	鎌倉保健 福祉事務所	・講義「これからの就園・就学と福祉のこと」 ・懇談会	先輩ママ、当所保健 師・栄養士・歯科衛 生士	18
9月29日	鎌倉保健 福祉事務所	・親子で楽しむ、赤ちゃん体操とフリー トーク！ ・懇談会	ダウン症療養研究会 体操指導員 本山三 枝子氏、先輩ママ	16
1月11日	鎌倉保健 福祉事務所	・食べる機能の講習会 (離乳食のすすめ方 に不安を感じているお母さんへ) ・グループ相談 ・懇談会	昭和大学歯学部 准教授 弘中祥司氏	22

(カ) 「慢性疾患児教室」

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月28日	鎌倉保健福 祉事務所	・講演「病気をもつ子どもと親のこころの ケア」	跡見学園女子大学 教授 医学博士 臨 床心理士 松寄くみ 子氏	14

エ 養育困難事例研修会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月25日	鎌倉保健 福祉事務所	・事例検討 ・講演「子どもの虐待を予防していくため に～家庭訪問・育児相談・乳幼児健康診 査でのチェックポイントと親子支援～」	徳永家族問題相談室 室長 徳永雅子氏	41

(7) 保健福祉サービス連携調整会議 (母子保健部会)

医療機器装着児、医療に係わる配慮が必要な子ども達への支援課題を明らかにすることを目的に、情報・意見交換を行いました。

月 日	内 容	出席人員
12月2日	・管内の母子保健統計の分析について ・管内の母子保健事業について ・医療機器装着児や医療に係わる配慮が必要な子ども達 への支援	18

(8) 病院との継続看護

退院後も経過を見る必要のある児について、病院から連絡を受け、訪問指導を行いました。

<小児の継続訪問依頼>

把握連絡票	病院	こども医療センター	横須賀市立市民病院	その他の病院*	計
	市町名				
未熟児出生連絡票	鎌倉市	—	—	—	0
	逗子市	—	3	1	4
	葉山町	—	—	2	2
	小計	0	3	3	6
療育指導連絡票	鎌倉市	1	—	—	1
	逗子市	—	—	—	0
	葉山町	—	—	—	0
	小計	1	0	0	1
その他	鎌倉市	—	—	—	0
	逗子市	—	—	2	2
	葉山町	1	—	2	2
	小計	1	0	4	4
計		2	3	7	11

※ 「その他の病院」
 ・横浜医療センター
 ・平塚共済病院
 ・横須賀共済病院
 ・横須賀市立うわまち病院
 ・藤沢市民病院

(9) 乳幼児身体発育調査・幼児健康度調査

ア 調査の概要

この調査は、厚生労働省が昭和35年から10年周期で実施している調査であり、結果は母子健康手帳の身体発育曲線の作成や乳幼児の保健指導に活用されます。

平成17年国勢調査地区の中の3,000地区内の乳幼児を対象として、無作為抽出した世帯の乳幼児に対して実施されました。また、幼児については、幼児健康度調査も併せて実施されました。

イ 実施状況

(ア) 実施期間 平成22年9月1日～9月30日

(イ) 対象地区及び調査内容

対象地区	総世帯数	調査世帯数	対象		調査数		調査内容	
			乳児	幼児	乳児	幼児		
鎌倉市	大船	65	13	2	16	2	12	健康診査 身長・体重・胸囲 ・頭囲の測定 栄養、妊娠・出産等に関する聞き取り
	雪ノ下	44	4	2	3	0	1	
	材木座	67	2	0	2	0	1	
	岩瀬	78	3	2		1	0	
	小計	254	22	6	21	3	14	
逗子市	逗子	64	1	0	1	0	1	
	久木	40	0	0	0	0	0	
	小計	104	1	0	1	0	1	
総計	358	23	6	22	3	15		

(10) 母子保健事業等連絡会

母子保健事業を市町と連携し、事業を円滑に推進するため、定期連絡会及び事例について情報交換会を行いました。

ア 定期連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
6月7日	逗子市役所	・母子保健事業の連絡事項 ・申し合わせ事項について	10
6月17日	葉山町役場	・母子保健事業について ・申し合わせ事項について	9
6月30日	鎌倉保健 福祉事務所	・母子保健事業について ・未熟児訪問指導の状況について ・確認事項について	9
平成23年 2月24日	逗子市役所	・母子保健事業の連絡事項 ・申し合わせ事項について	12
2月25日	鎌倉保健 福祉事務所	・母子保健事業について ・未熟児、慢性疾患児訪問指導について ・歯科保健事業について ・確認事項	8

イ 情報交換会

市 町	回 数
逗子市	1回*
葉山町	9回

*逗子市については、平成23年3月より月1回の情報交換会を開始しました。

2 健康増進対策

(1) 健康づくり事業等

指定介護保険事業所（訪問系）において高齢者に携わる介護職員等を対象に、救急法に関する講習会を開催しました。

<救急法普及啓発事業>

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月23日	鎌倉保健 福祉事務所	・介護現場で起こりやすい事故、 急変時の応急手当	国際救急法研究所 理事長 宇田川規夫氏 当所保健師4名 事務職1名	28

(2) 保健福祉サービス連携調整会議（健康増進・高齢者保健福祉部会）

三浦半島地区地域・職域連携推進会議、地域食生活対策部会と合同開催。

月 日	内 容	出席人員
1月26日	がんへの挑戦・10か年戦略の概要と当所の取り組みについて 市・町・団体の取り組みについて	4

(3) がん検診普及啓発セミナー

「がんへの挑戦・10か年戦略」の中間評価における今後の方向性をふまえ、がん検診受診率の向上を目指すため、鎌倉市、アフラック・予防医学協会など民間企業と協働して、地域のニーズや実情に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。

月 日	テーマ・内容	場 所	参加人員
9月11日	「乳がん撲滅キャラバン隊～ピンクリボンかながわin鎌倉～」乳がん自己触診、マンモグラフィ検診車見学等	イトーヨーカドー 大船店	250
3月12日	講演会「もっと知ってほしい 乳がんのこと」	鎌倉生涯学習センター	東日本 大震災 のため 中止

(4) 市町村保健サービス評価支援活動

葉山町健康増進計画・食育推進計画策定において、共通認識を持つため研修会等の実施及び住民の健康状況を把握するためのアンケート調査項目の作成にあたり、学識経験者による技術的支援を行いました。

日 時	内 容	講師及び助言者	出席者数
6月17日	【行政関係打合せ】 ・市町村保健サービス評価支援活動の内容について		6
9月13日	【担当者打合せ】 ・担当者、助言者顔合わせ ・葉山町の計画策定の予定 ・健康に関する情報の共有	東海大学大学院医学研究科 准教授 渡辺良久氏	9
10月25日	【研修会】 ○ 庁内の関係各課の担当者の共通認識を図るための開催 ・葉山町の計画策定の概要 ・葉山町の健康課題について ・今後の進め方について	東海大学大学院医学研究科 准教授 渡辺良久氏	13
1月25日	【庁内検討会議】 ・計画策定にかかる住民アンケート調査の進め方 ・意見交換等 ・今後の進め方 ・予算について	東海大学大学院医学研究科 准教授 渡辺良久氏	10
2月22日	【担当者打合せ】 ・アンケート調査項目について		6

3 栄養・食生活対策

(1) 地域食生活対策基盤整備

地域と職域の健康課題の情報共有を行い、生活習慣病予防のための栄養・食生活対策について協議しました。

<保健福祉サービス連携調整会議（食生活対策部会）>

月 日	内 容	出席人員
1月26日	・働き盛り世代への食生活支援体制づくり ・地域・職域連携、給食部門・健康増進部門連携等包括的な健康増進について	7

(2) 広域的・専門的栄養改善活動

食生活や生活習慣に起因するところが大きい慢性疾患や、長期療養を必要とする個別性の高い疾患が増加していますが、それらの疾患の重症化を予防し、生活の質の向上をめざした食事療法を実践するための教室や個別相談を行いました。

ア 疾病予防食生活対策事業

<各種疾病別栄養指導教室>

区 分	コース数	延べ回数	延べ人員 (個別指導を含む)
生活教室	1	5	83
難病食生活教室	1	2	14
ダウン症児教室	6	6	58
親子支援相談	6	6	31
こどものアレルギー教室	1	1	52
多胎児教室	2	2	27
未熟児教室	1	1	8
計	18	23	273

<専門栄養相談>

疾 病 別	実人員	延べ人員	(再掲)訪問	備 考
糖尿病合併症	2	2	0	
脂質異常症 ・肥満合併症	8	8	0	
腎臓疾患	2	2	0	
ハイリスク児	20	31	0	
摂食	6	6	0	
精神保健	2	2	0	
その他の	8	8	0	食物アレルギー等
計	48	59	0	

イ 栄養・食生活対策推進事業

(ア) 栄養・食生活支援担当者研修

区分	対象	月日	内容	参加人員
職域等と連携した生活習慣病予防対策	事業所、社会福祉施設、病院、介護保険施設の管理栄養士、健康づくり担当者、在宅栄養士	10月7日	講演「働き盛りの生活習慣病予防」 講師 県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 教授 山本妙子氏 講演「給食を通じた生活習慣病の予防」 講師 エコーライフ株式会社 管理栄養士 井平貴子氏	19
		1月27日	講演「働き盛り世代への継続的な保健指導について～肥満者のこころを理解した保健指導～」 講師 文教大学 教授 石原俊一氏	38
学校と連携した食生活自立支援対策（地域保健活動推進研修）	学校、児童福祉施設、行政職員、在宅栄養士	2月7日	講演「多職種と連携した食育事業とその評価～食育実践を例に～」 講師 相模女子大学 准教授 吉岡有紀子氏 食育事例発表 富士愛育園 副園長 池田明子氏 鎌倉市立大船小学校 栄養職員 小林茂都子氏	40

(イ) 連絡会

区分	対象	内容	回数	参加人数
知的障害者施設連絡会	社会福祉施設 栄養士	・情報交換 ・調理実習 ・食品衛生についての確認	4	17

ウ 栄養表示適正化推進事業

区分	集団指導		個別指導 相談件数
	回数	人数	
食品業者等	1	94	9
消費者	3	81	—
給食施設	—	—	—

栄養表示状況調査	15食品
----------	------

(3) 特定給食等指導

健康増進法に基づき、給食施設に対して栄養管理の実施について、必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員などの健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

<特定給食施設等講習会・種別講習会>

種別区分	月日	内容	参加施設数	参加人員
全体講習会	6月26日	「食中毒予防について」 講師 当所 食品衛生監視員 「健康食品の危険な落とし穴」 講師 衛生研究所 主任研究員 熊坂謙一氏	102	134
種別講習会	8月27日	「他職種と連携した栄養管理の実践」 講師 県立がんセンター医療技術部 栄養科長 中田恵津子氏	26	26
種別講習会	11月22日	「知っておきたい慢性腎臓病（CKD）の栄養管理」 講師 昭和大学藤が丘病院 栄養科 科長補佐 菅野丈夫氏	19	26

<給食施設個別指導> [対象施設状況一覧]

種別区分	特 定 給 食 施 設						その他の給食施設			対象施設数
	1回100食以上 又は 1日250食以上			1回300食以上 又は 1日750食以上			1回50食以上100食未満 又は 1日100食以上250食未満			
	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	管理栄養士配置	栄養士配置	未配置	
学 校	2	—	3	15	8	1	1	—	—	30
病 院	8	—	—	2	—	—	6	—	—	16
老人保健施設	3	—	—	—	—	—	4	—	—	7
老人福祉施設	8	1	1	—	—	—	3	2	1	16
児童福祉施設	1	10	3	—	—	—	4	5	4	27
社会福祉施設	—	—	—	—	—	—	—	3	2	5
寄 宿 舎	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2
事 業 所	—	1	1	3	1	—	—	2	7	15
そ の 他	2	1	1	—	—	—	0	3	2	9
計	24	13	9	20	9	1	18	15	18	127

(4) 行政栄養士との連携・連絡調整

市町の行政栄養士の相互理解と栄養活動の現状や業務の連携について情報交換をしました。

<行政栄養士連絡会>

月 日	内 容
5月12日	・今年度の栄養・食生活対策事業内容について
7月14日	・成人保健事業について-特定健診・特定保健指導事業について-
9月 8日	・成人保健事業について-地域支援事業・食育事業等について-
11月15日	・食生活改善推進員の養成及び育成について
1月12日	・栄養・食生活対策事業の評価について-事業のまとめと計画-
3月 9日	・次年度の栄養・食生活対策事業計画について ・次年度の行政栄養士連絡会計画について

(5) 人材育成

地域における食生活改善活動の推進を図るため、人材育成及び活動支援を実施しました。

ア 地域栄養士等指導事業

<地域栄養士等指導>

区 分	コース	参加延べ人員	内 容
在宅栄養士研修 (保健衛生研修)	1	2	・小児の摂食機能について ・高齢者の食事支援 ～摂食・嚥下の機能について～
臨地実習生 (管理栄養士等)	4	75	・県立保健福祉大学・鎌倉女子大学 ・関東学院大学・相模女子大学

イ 地区組織等の育成

<食生活改善推進団体指導>

指導回数	延べ人員
22	355

(6) 国民健康・栄養調査及び県民健康・栄養調査

厚生労働省が国民の健康や栄養状態を調査し、健康づくりや生活習慣病対策の基礎資料とするため国民健康・栄養調査を実施しました。あわせて、かながわ健康プラン21の評価を行うため、県民健康・栄養調査を実施しました。

ア 国民健康・栄養調査

地区	調査内容	実施世帯
鎌倉市小町	栄養摂取状況調査 身体状況調査 生活習慣調査	11世帯24人

イ 県民健康・栄養調査

地区	調査内容	実施世帯
鎌倉市小町	栄養摂取状況調査 身体状況調査 健康に関する意識調査	22世帯56人

4 歯科保健

(1) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児教室や歯科健診と連携し、重度むし歯のリスク要因を有する幼児を早期に把握し、継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物塗布等を実施しました。

実施回数	受診者数			予防処置者数（延べ人員）			初診者の把握経路				
	初診	再診	計	フッ化物	フッ化ジ アミン銀	計	教室	1.6歳児	2歳児	その他	計
52	179	249	428	286	12	298	36	95	45	3	179

(2) 障害児者等歯科保健事業

ア 検診等

心身に障害をもつ幼児を対象に歯科検診・摂食機能発達指導等を、知的・身体・精神障害者援護施設及び地域作業所の利用者等を対象に歯みがき指導と口腔機能訓練を行いました。

(ア) 19歳以下

市 町 名	実施回数	受診者数			予 防 処置数	摂食関連 指導数	備 考
		初診	再診	計			
鎌倉市	24	34	79	113	37	6	子育て親子支援相談・あおぞら園等
逗子市	8	21	17	38	9	8	親子教室等
葉山町	1	0	1	1	1	0	
計	33	55	97	152	47	14	

(イ) 20歳以上

対 象	実施回数	受診者数			予 防 処置数	摂食関連 指導数	備 考
		初診	再診	計			
らく楽の会	1		3	3	—	—	難病患者・家族の会
障害者援護施設等	9	15	166	181	—	—	障害者援護施設・地域作業所
計	10	15	169	184	0	0	

イ 講習会の開催

摂食機能発達支援のための講習会をダウン症児の親子の会と併催実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加組数
1月11日	ダウン症児によく見られる食べ方、飲み方と摂食機能の発達を促す介助について（講習とグループ指導）	昭和大学歯学部 口腔衛生学教室 准教授 弘中祥司氏	6組

(3) 歯周疾患予防対策事業（歯と歯ぐきの検診）

成人の歯周疾患予防対策の一環として、妊婦及び一般成人を対象に歯と歯ぐきの検診及び歯周疾患予防の歯みがき実習を行いました。

歯科検診・保健指導

実施回数	受 診 者 数		
	初 診	再 診	計
22	130	1	131

(4) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者等のQOLの向上をめざし、訪問による検診、摂食指導等を行いました。

ア 訪問者数

実人員	延 べ 人 員					計
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	
9	17	—	—	—	—	17

イ 従事回数

歯科医師	歯科衛生士
16	16

ウ 市町別訪問数

区 分	慢性疾患児	その他	計
鎌倉市	5	—	5
逗子市	3	—	3
葉山町	9	—	9
計	17	—	17

(5) 保健福祉サービス連携調整会議（歯科保健部会）

管内の関係団体等により歯科保健に関する総合的な検討協議を行い、各機関と連携を密にし、歯科保健の円滑な推進を図ることを目的に開催しました。

月 日	内 容	出席人員
5月20日	<在宅障害者分野> 在宅障害者歯科検診・保健指導の実施体制について	3
1月20日	<総合分野> 「かながわ健康プラン21」歯の健康分野の当所管内における目標値達成状況と今後の対応について	8

(6) 歯科健康教育

実施回数	参加人員	内容件数（複数計上）			
		う蝕予防	歯周疾患予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア
13	127	9	6	8	0

(7) 人材の育成

実施回数	参加人員	内 訳			
		地域歯科保健指導者連絡会	在宅歯科衛生士研修	食べる機能の研修	若宮会健康づくり研修
7	130	26	53	9	42

(8) 歯の健康づくり事業

歯間清掃用具の正しい使用方法等についての普及啓発を行いました。

対象	回数	人員
使用法指導者数	21	161

(9) その他

学生指導人員	電話相談件数	口腔機能の向上に関する相談
63	12	0

参考資料 3歳児歯科健康診査の結果(市町実施分)

市町名	対象数	受診数(率)	有う病者数(率)	う歯数			一人平均う歯数	う蝕の型別分類				
				未処置歯数	処置歯数	計		A型	B型	C1型	C2型	D型(再掲)
鎌倉市	1,387	1,143 (82.4)	151 (13.2)	407	51	458	0.40	114	34	0	3	15
逗子市	445	393 (88.3)	65 (16.5)	200	13	213	0.54	54	9	0	2	10
葉山町	326	314 (96.3)	48 (15.3)	151	7	158	0.50	27	13	6	2	0
計	2,158	1,850 (85.7)	264 (14.3)	758	71	829	0.45	195	56	6	7	25

(注) う蝕の型別分類

- A型 上顎前歯部のみ、または臼歯部のみとう蝕がある者
- B型 上顎前歯部および臼歯部とう蝕がある者
- C1型 下顎前歯部のみとう蝕がある者
- C2型 下顎前歯部と他部位とう蝕がある者
- D型 6本以上う蝕がある者(神奈川県独自の分類)

5 地域福祉の事業

(1) 民生委員・児童委員の活動

地域における福祉活動の中心的役割を担っている、民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

区分 市町名	定 数		
	民生委員 児童委員	主任児童 委員	計
鎌倉市	204	20	224
逗子市	74	6	80
三浦市	83	7	90
葉山町	48	3	51
計	409	36	445

(2) 障害福祉相談員の活動

地域における障害福祉ニーズに対応するため、知事から任命された障害福祉相談員に活動手当を支給しました。また、相談員の資質向上のため、研修会を実施しました。

ア 定数及び活動状況

区分 市町名	定 数	活 動 件 数		
		実 践 活 動	相談・助言活動	計
鎌倉市	6	559	263	822
逗子市	6	581	247	828
三浦市	5	429	56	485
葉山町	4	358	24	382
計	21	1,927	590	2,517

イ 研修の状況

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
5月26日	鎌倉保健 福祉事務所	手話の基本について	神奈川県障害福祉相談員 (三浦市聴覚障害者協会) 藤原早苗氏	22
		発達障害の理解と支援について	たすく株式会社代表 齊藤宇開氏	

(3) 地域福祉コーディネーター養成事業

社会福祉協議会、地域包括支援センター等の福祉専門職員に対して、地域づくりのキーパーソンとなる専門研修を実施しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
6月18日	逗子文化プラ ザ市民交流セ ンター	地域福祉コーディネーターの理解 講師 県立保健福祉大学 中村美安子氏	29
7月14日		地域福祉コーディネーターの実践例	31
9月28日		地域診断とネットワーク形成 講師 かまくら在宅生活相談センター 樽井彰子氏	26
10月14日		小地域福祉活動のマネジメント 講師 北里大学医学部臨床研究センター 齊藤史朗氏	23

(4) 成年後見制度普及事業

福祉関係者に対して、成年後見制度の理解を深めるため、事例を通して研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
1月 31日	県立保健福祉大学	成年後見制度地域研修会（横須賀・三浦圏域）	横浜弁護士会 弁護士 内嶋順一氏	75
2月18日	葉山町福祉文化会館	権利擁護ネットワークによる地域生活支援	横浜弁護士会 弁護士 鈴木洋平氏	35

(5) バリアフリーのまちづくり推進事業

ア 葉山福祉まつり

葉山福祉まつりに参加し、パンフレット配布等の普及・啓発を行いました。

月 日	場 所	内 容	配布部数
9月26日	葉山町福祉文化会館	パンフレット配布等	150

イ 「心のバリアフリー」福祉教育研修会

学校教育と連携して、「心のバリアフリー」の研修会・出前授業を行いました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
7月28日	葉山町保育園・教育総合センター	児童生徒にわかりやすく「心のバリアフリー」を教えるための技法 神奈川県立三浦臨海高等学校 福祉科 山田さく氏	8
2月22日	鎌倉市立稲村ヶ崎小学校	「心のバリアフリー」福祉教育実践研修会（出前授業） 神奈川県立三浦臨海高等学校 福祉科 山田さく氏	42

(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域事業の推進

圏域における障害者緊急避難体制の整備を図るため、逗子市小坪地区をモデルに、逗子市障害福祉・防災主管課、障害者福祉施設、社会福祉協議会、民生委員等の参画により、災害時要援護障害者支援制度運用訓練を実施し、圏域自立支援協議会等に報告しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
4月24日	逗子市小坪地区	逗子市小坪地区災害時要援護障害者支援制度運用訓練の実施	50

6 介護保険

(1) 介護保険審査会運営事業

保健福祉事務所に設置された介護認定審査部会において、所管する市町村が行った要介護認定・要支援認定の処分に不服があった場合の審査請求について審査します。

なお、平成22年度においては第2介護認定審査部会に対する審査請求は行われませんでした。
(所管地域：横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町)

(2) 介護保険指定事業者指導等事業

介護保険制度の円滑な推進を図るために、県介護保険課、県高齢施設課、各保健福祉事務所と共催で集団指導を行いました。

また、管内に所在する介護保険指定事業者等に対し、実地指導を行いました。
(所管地域：横須賀市、鎌倉市、逗子市、葉山町)

ア 介護保険指定事業者等指導講習会開催状況

月 日	場 所	参加事業所数(管内)
6月14、15日外7日間	鎌倉芸術館 小ホール外	1, 155

イ 介護保険事業所実地指導件数

	横須賀市	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
1 指定訪問介護	22	8	7	3	40
2 指定介護予防訪問介護	22	7	7	3	39
3 指定訪問入浴介護	3	1	1	—	5
4 指定介護予防訪問入浴介護	3	1	1	—	5
5 指定訪問看護	6	2	1	—	9
6 指定介護予防訪問看護	6	2	1	—	9
7 指定訪問リハビリテーション	—	—	—	—	0
8 指定介護予防訪問リハビリテーション	—	—	—	—	0
9 指定居宅療養管理指導	—	—	—	—	0
10 指定介護予防居宅療養管理指導	—	—	—	—	0
11 指定通所介護	15	9	7	4	35
12 指定介護予防通所介護	16	9	6	4	35
13 指定通所リハビリテーション	6	2	3	—	11
14 指定介護予防通所リハビリテーション	6	2	3	—	11
15 指定短期入所生活介護	6	3	1	2	12
16 指定介護予防短期入所生活介護	6	3	1	2	12
17 指定短期入所療養介護	6	1	1	—	8
18 指定介護予防短期入所療養介護	6	1	1	—	8
19 指定特定施設入居者生活介護	2	1	—	2	5
20 指定介護予防特定施設入居者生活介護	2	1	—	2	5
21 指定福祉用具貸与	6	2	2	1	11
22 指定介護予防福祉用具貸与	6	2	2	1	11
23 指定特定福祉用具販売	5	2	2	1	10
24 指定特定介護予防福祉用具販売	5	2	2	1	10
25 指定居宅介護支援	20	10	6	5	41
26 指定介護老人福祉施設	5	3	1	1	10
27 介護老人保健施設	—	1	1	—	2
28 指定介護療養型医療施設	—	—	—	—	0
計	180	75	57	32	344

7 生活福祉の業務

(1) 生活保護業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法に基づく保護を行い、その最低生活を保障するとともに自立を支援しました。

ア 扶助別被保護世帯数・人員

2011（平成23）年4月1日現在

区分		総数	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	出産扶助	葬祭扶助
町名	世帯数	90	85	73	9	18	81	2	—	3
	人員	133	128	110	13	21	112	4	—	3

※ 出産扶助・葬祭扶助については平成22年度中の実績

イ 保護開始・廃止

<理由別開始世帯の状況>

2010（平成22）年度

区分	傷世帯主の病	傷世帯員の病	世帯・不離	稼働収入の減少				減年金等	減送金等	消費貯金費	その他の	計
				失定年	老齢	倒産等	その他					
町名												
葉山町	5	1	2	2	4	—	2	1	2	4	10	33

<理由別廃止世帯の状況>

2010（平成22）年度

区分	病世帯の治癒	病世帯員の癒傷	死	失踪	稼働増	転入	働手	年金等の加	引取	増送金	施設入所	法医療負担	転出	その他の	計
葉山町	—	—	3	2	—	—	—	1	—	—	—	—	3	1	10

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況

2011（平成23）年4月1日現在

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯	計
町名						
葉山町	42	5	10	21	12	90

エ 労働力類型別被保護世帯の状況

2011（平成23）年4月1日現在

区分	稼働世帯					非稼働世帯	計
	世帯主が働いている世帯				世帯員稼働		
	常用	日雇	内職	その他			
町名							
葉山町	14	1	5	—	1	69	90

オ 医療扶助の状況

2011（平成23）年4月1日現在

区分	入院			入院外			計
	精神	その他	小計	精神	その他	小計	
町名							
葉山町	—	1	1	—	111	111	112

カ 生活保護施設措置状況 2011（平成23）年4月1日現在

区分	救護施設	更生施設	計
町名			
葉山町	2	—	2

キ 保護の開始廃止件数の推移

年 度	2003年度 (平成15)	2004年度 (平成16)	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)
開 始	9	10	14	16	11	17	18	33
廃 止	9	11	12	11	10	7	9	10

ク 保護世帯数等の推移(年度平均)

年 度	2003年度 (平成15)	2004年度 (平成16)	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)
世帯数	42	41	40	46	49	53	63	78
人 員	71	67	64	69	74	80	94	116
保護率 %	2.28	2.12	2.03	2.18	2.33	2.49	2.89	3.45

ケ 生活保護費の状況

(単位：円)

区分 町名	総 額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費
葉山町	106,106,157	63,846,099	34,502,009	1,324,336	38,980	1,687,389	254,689	804,855	3,647,800

(注) 上記経費は当所において直接支出した扶助費ごとの額です。

(2) 特別障害者手当等の支給状況

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅の重度障害児者に対し、その重度の障害ゆえに生ずる特別の負担の一助として、特別障害者手当等を支給しました。

(単位：人)

区分 町名	特別障害者手当等		
	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
葉山町	2	—	10

(3) 母子福祉資金等の貸付

母子及び寡婦福祉法に基づく母子自立支援員による相談指導や母子家庭等の経済的自立の助成、生活意欲の助長、児童の福祉の増進等のため、母子福祉資金、寡婦福祉資金の貸付を行いました。

市町名	区分	技能	就職	転宅	医療	生活	修学	就学	修業	結婚	児童	計
		習得	支度		介護			支度			扶養	
鎌倉市	母子	—	—	1	—	—	15	16	—	—	—	32
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
逗子市	母子	—	—	2	—	1	17	17	—	—	—	37
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
葉山町	母子	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
計	母子	—	—	3	—	1	34	33	—	—	—	71
	寡婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0

(4) 母子自立支援員の設置

福祉事務所に母子自立支援員を設置し、母子家庭及び寡婦家庭の自立に必要な福祉資金の貸付をはじめとして、生活全般にわたる相談・援助を行いました。

<相談援助実施状況（相談回数）>

区分	生 活 一 般								計	
	住 宅	医療・健康	家 庭 紛 争		就 労	養育費	その他	小 計		
夫等の暴力			その他							
市町名										
葉山町	2	2	5	9	49	10	3	80	167	
区分	児 童						小 計			
	養 育	教 育	非 行	就 職	その他					
市町名										
葉山町	1	3	—	—	—	—	4			
区分	経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護									
	母 子 福 祉 資 金 貸 付		寡 婦 福 祉 資 金 貸 付		公 的 年 金	児 童 扶 養 手 当	生 活 保 護 税	その他	小 計	
市町名										
葉山町	35	26	—	—	—	14	4	1	1	81
区分	そ の 他							小 計		
	売 店	た ば こ 販 売	公 営 住 宅	施 設 利 用	母 子 生 活 支 援 施 設					
市町名										
葉山町	—	—	—	—	—	—	2	2		

<自立支援給付金事業の実施状況（給付件数）>

自立支援教育訓練給付金	高等技能訓練促進費
0	3

(5) 関連する業務

DV防止法（配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律）においては、福祉事務所は女性相談所、配偶者暴力相談支援センターと連携し、被害者の自立支援のために必要な援護措置をとることとなっており、相談・援助を行いました。

年度	援助内容		
	面接	電話	一時保護
2007（平成19）年度	6	7	—
2008（平成20）年度	7	7	3
2009（平成21）年度	2	12	—
2010（平成22）年度	9	3	3

第5章 保健予防課

保 健 予 防 課 業 務

結核・エイズ・感染性疾患の予防対策や、精神保健福祉、難病対策、認知症疾患対策事業等、専門的・技術的な事業の推進を図っています。

1 結核予防

結核患者の発生届出受理後登録を行い、医療機関と連携して患者の治療完結に結びつけるとともに、家族等の接触者に対して健康診断を行いました。

2 感染症予防

平時は、インフルエンザ・感染性胃腸炎等の季節等に応じて一般住民に多く発生する感染症について、定点医療機関からの報告・還元によるまん延防止のための普及啓発をしています。一方、稀な赤痢・腸管出血性大腸菌感染症（O157）等の感染症の発生届出等による患者を把握した場合は、患者及びその家族接触者の疫学調査及び健康診断を行い、原因究明及びまん延防止に努めています。また、B型・C型肝炎の感染の心配がある方に対し検査及び相談を行うとともに、B型肝炎・C型肝炎ウィルスに感染した方がインターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療を受ける場合の医療援護事務を行いました。

3 エイズ予防

感染の予防と早期発見のために、相談及びHIV抗体検査を実施しました。また、中学生・高校生等の若い世代を中心に、エイズに対する正しい知識の普及啓発を図りました。

4 難病対策

特定疾患患者への医療援護事務を行うとともに、難病患者及びその家族を対象に訪問指導を行うほか、講演会及び交流会等を開催しました。また、患者及びその家族の実態に応じた地域の支援体制づくりのための在宅療養支援計画策定・評価委員会を開催しました。

5 原爆被爆者援護

被爆者健康手帳等交付申請・各種の手当支給申請・医療援護等の事務を行うほか、定期健康診断を行いました。

6 認知症対策

認知症患者とその家族に対して、専門医や保健師による相談・訪問指導を行いました。また、徘徊高齢者を早期に発見するため、市町が設置している地域ネットワークが円滑に運営されるよう支援しました。更に、地域における認知症対策の推進のため、処遇困難事例に関する研修会を開催しました。

7 精神保健福祉

精神疾患の悪化や再発防止を図るため、専門医による定例相談及び福祉職・保健師による随時相談及び集団指導を行いました。また、精神障害者の生活支援、社会復帰の促進に努めるため、関係団体やボランティア等の育成及び活動支援を行いました。そのほか、自殺防止対策の取り組みとして、関係機関や団体との連携を図るため会議や研修会の開催、公用車によるキャンペーンの実施、地域住民や関係者に対しての講演会の開催をしました。

1 結核予防

(1) 定期の健康診断

ア BCG接種者（市町実施分）

市町名	BCG 接種者
鎌倉市	1,339
逗子市	395
葉山町	226
計	1,960

(2) 健康診断

ア 管理検診・接触者健康診断

経過観察中の結核患者に対する管理検診、患者家族・接触者に対する健康診断を実施しました。

区分	対象者	受診者			受診率	受診結果		
		保健所	医療機関			要医療	経過観察	異常なし
			自主受診	受診券交付				
管理検診	28	—	23	—	82.1%	—	—	23
接触者 健康診断	123	101	6	16	100.0%	1	—	122

イ エックス線検査実施状況

事業区分	撮影区分	直接撮影 (所内)		間接撮影 (所内)		直接撮影 (検診車)		断層撮影		合計		前年度計	
		人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件
接触者 健康 診断	患者家族接触者健診	70	70	—	—	—	—	—	—	70	70	69	69
	まん延地区検診	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—
	管理検診	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	—
計		70	70	0	0	0	0	0	0	70	70	69	69

ウ 結核患者家庭訪問指導状況

年度	実人員	延べ人員
2006(平成18)年度	33	86
2007(平成19)年度	39	122
2008(平成20)年度	22	46
2009(平成21)年度	18	35
2010(平成22)年度	26	31

(3) 結核患者の状況

ア 登録患者数

(ア) 受療別登録患者数

平成22年12月31日現在

市町別	計	要医療			経過観察	受療状況不明
		入院中	在宅医療	小計		
鎌倉市	51	2	17	19	31	1
逗子市	18	1	6	7	11	—
葉山町	8	—	6	6	2	—
住所不明	0	—	—	0	—	—
計	77	3	29	32	44	1

(イ) 市町別登録患者

平成22年12月31日現在

市町別	計	肺結核活動性				肺外結核活動性	不活動性	活動性不明	潜在性結核(別掲)
		登録時肺結核塗抹陽性	登録時肺結核その他の菌陽性	登録時菌陰性その他	小計				
鎌倉市	51	7	5	4	16	3	27	5	1
逗子市	18	1	3	—	4	3	10	1	3
葉山町	8	4	1	—	5	1	2	—	—
住所不明	0	—	—	—	0	—	—	—	—
計	77	12	9	4	25	7	39	6	4

イ 新登録患者数(男女別・年齢別・市町村別)

平成22年1月1日～平成22年12月31日

市町別	性別	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳
鎌倉市	男	—	—	—	—	1	4
	女	—	—	—	—	1	2
逗子市	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	1
葉山町	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—
計	男	0	0	0	0	1	4
	女	0	0	0	0	1	3

市町別	性別	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
鎌倉市	男	1	—	2	10	18
	女	—	—	—	5	8
逗子市	男	—	—	1	4	5
	女	—	1	1	3	6
葉山町	男	—	—	—	1	1
	女	—	—	1	4	5
計	男	1	0	3	15	24
	女	0	1	2	12	19

(注) 潜在性結核感染症を除く

ウ 結核登録状況の推移

(12月31日現在登録患者数／人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
2006(平成18)年	5,244	59.3	92	35.0	55	31.8	23	39.4	13	41.0
2007(平成19)年	4,945	55.5	112	42.4	76	43.8	23	39.2	13	40.7
2008(平成20)年	4,602	51.3	104	39.3	69	39.7	26	44.3	9	27.9
2009(平成21)年	4,602	51.1	67	25.2	44	25.3	19	32.3	4	12.3
2010(平成22)年	4,236	46.8	77	29.0	51	29.3	18	30.9	8	24.4

(注) 非定型抗酸菌陽性を除く。潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

エ 結核り患状況の推移

(新登録患者数／人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率	新登録数	り患率
2006(平成18)年	1,757	19.9	49	18.6	35	20.3	6	10.3	8	25.2
2007(平成19)年	1,654	18.6	61	23.1	44	25.3	13	22.1	4	12.5
2008(平成20)年	1,629	18.2	53	20.0	32	18.4	17	29.0	4	12.4
2009(平成21)年	1,633	18.1	41	15.5	29	16.7	9	15.3	3	9.3
2010(平成22)年	1,577	17.4	43	16.2	26	14.9	11	18.9	6	18.3

(注) 非定型抗酸菌陽性を除く。潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

オ 活動性結核有病状況の推移

(12月31日現在活動性結核患者数／人口×10万)

年	神奈川県		管内		鎌倉市		逗子市		葉山町	
	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率	活動性結核	有病率
2006(平成18)年	1,618	18.3	49	18.6	32	18.5	7	12.0	9	28.4
2007(平成19)年	1,459	16.4	37	14.0	22	12.6	10	17.1	5	15.7
2008(平成20)年	1,386	15.4	39	14.7	24	13.8	13	22.1	2	6.2
2009(平成21)年	1,470	16.3	30	11.3	21	12.1	6	10.2	3	9.3
2010(平成22)年	1,350	14.9	32	12.1	19	10.9	7	12.0	6	18.3

(注) 非定型抗酸菌陽性を除く。潜在性結核感染症は除く。人口は各年10月1日現在。

カ 平均結核り病期間の推移 (有病率／り患率)

年	神奈川県	管内
2006(平成18)年	0.92	1.00
2007(平成19)年	0.88	0.60
2008(平成20)年	1.06	0.73
2009(平成21)年	0.90	0.70
2010(平成22)年	0.86	0.75

単位：年

(4) 感染症診査協議会・結核部会

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく入院勧告及び公費負担の申請医療内容の適否について、必要な事項を審議しました。

ア 入院勧告及び医療費公費負担診査件数

平成22年1月1日～平成22年12月31日

区分	20条入院勧告	37条の2	保険内訳						
			被用者保険		国民健康保険		高齢医療	生活保護	その他
			本人	家族	一般	退職本人・家族			
申請件数(計)		50	17	1	9	1	19	2	1
医療内容合格		49	16	1	9	1	19	2	1
公費負担承認		49	16	1	9	1	19	2	1
公費負担不承認		1	1	—	—	—	—	—	—
入院勧告件数	17								
入院延長	11								

2 感染症予防

(1) 全数把握対象疾患情報（結核は除く）

平成22年1月1日～平成22年12月31日

類型	疾患名	発生件数	患者数	保菌者数	接触者 検便	海外渡航先
三類	コレラ	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—
	腸管出血性大腸菌感染症	5	5	5	8	—
	腸チフス	—	—	—	—	—
	パラチフス	—	—	—	—	—
四類	レジオネラ症	1	1	1	—	—
	デング熱	1	1	1	—	インド
五類	麻疹	—	—	—	—	—
	風疹	—	—	—	—	—
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	1	—	—
	アメーバ赤痢	1	1	1	—	ネパール

(2) 集団かぜ（インフルエンザ）による臨時休業状況（延べ数）

施設	2009(平成21)年度					2010(平成22)年度				
	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数	施設数	施設閉鎖	学年閉鎖	学級閉鎖	欠席者数
幼稚園	35	15	7	15	479	12	2	2	8	156
小学校	284	2	40	340	4,912	86	—	10	76	808
中学校	143	4	46	125	2,242	15	—	1	14	87
高校	56	—	17	53	669	1	—	—	1	6
計	518	21	110	533	8,302	114	2	13	99	1,057

(3) 肝疾患対策

ア C型及びB型肝炎ウイルス検査実施状況（平成20年1月～無料検査実施）

区分	2008(平成20)年度		2009(平成21)年度		2010(平成22)年度	
	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行	来所による検査	検査受診券の発行
C型肝炎	162	5	50	1	25	0
B型肝炎	153	4	48	1	25	0

イ 肝炎治療医療費助成制度の申請者数

平成20年4月からインターフェロン治療等に対する医療費助成制度が開始され、平成22年4月から核酸アナログ製剤治療も助成対象に追加されました。

区分	年度	2008年度	2009年度	2010年度
		(平成20)	(平成21)	(平成22)
インターフェロン治療	申請者数	88	51	54
	承認数	87	49	54
	不承認数	1	2	0
核酸アナログ製剤治療	申請者数	/		60
	承認数			60
	不承認数			0

ウ 肝炎疾患講演会（横浜市と共催）

日時	場所	講師	演題	参加者
7月24日	あーすぷらざホール 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1	大船中央病院 院長 岩渕省吾氏	ウイルス性肝炎の治療と生活 ～C型肝炎を中心に～	59名

3 エイズ予防

エイズウイルスの感染拡大を防ぐため、相談・検査事業を実施したほか、正しい知識の普及・啓発を行いました。

(1) エイズ相談・検査

ア エイズ相談・検査実施状況

区 分	2004年度 (平成16)	2005年度 (平成17)	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)
相 談	243	186	276	318	351	237	174
検 査	66	62	84	92	117	77	66

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	計
男	0	9	13	7	3	3	0	35
女	0	14	12	1	2	2	0	31

ウ エイズ即日検査（再掲）

月 日	受検者数	
12月6日	8	秋のレッドリボン月間に伴い、即日検査を実施しました。

(2) エイズ予防普及事業

ア 青少年エイズ・性感染症予防講演会

月 日	実施校名	対象	受講者数
6月18日	県立逗葉高等学校	1年生	279
6月29日	北鎌倉女子学園高等学校	1年生	166
7月7日	逗子市立逗子中学校	3年生	138
10月15日	県立七里ガ浜高等学校	1年生	280
10月22日	県立逗子高等学校	1年生	282
2月23日	逗子市立沼間中学校	3年生	91
2月28日	鎌倉市立岩瀬中学校	3年生	112
3月4日	鎌倉市立第二中学校	3年生	57
3月18日	鎌倉市立第一中学校	2年生	70

イ 地域エイズ予防啓発事業

月 日	実施事業及び内容	実施場所	参加人数
7月7日	青少年健全育成推進街頭キャンペーン	J R 鎌倉駅及び大船駅	1,000
9月26日	「葉山町福祉まつり」にて予防啓発	葉山町福祉文化会館	70
11月12日	青少年健全育成推進街頭キャンペーン	J R 鎌倉駅及び大船駅	1,000

4 難病対策

原因不明あるいは治療方法が未確立の特定疾患患者に対し、医療給付申請を受け付けるとともに、各種相談事業を実施しました。

(1) 特定疾患医療援護

特定疾患医療費給付

	鎌倉市			逗子市			葉山町			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 ベーチェット病	14	15	29	3	6	9	1	3	4	18	24	42
2 多発性硬化症	1	12	13	1	7	8	2	1	3	4	20	24
3 重症筋無力症	15	13	28	3	8	11	4	2	6	22	23	45
4 全身性エリテマトーデス	4	68	72	5	23	28	2	11	13	11	102	113
5 スモン	—	2	2	—	—	0	—	—	0	0	2	2
6 再生不良性貧血	3	10	13	2	3	5	1	—	1	6	13	19
7 サルコイドーシス	4	17	21	2	6	8	1	1	2	7	24	31
8 筋萎縮性側索硬化症	4	3	7	2	1	3	1	—	1	7	4	11
9 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	8	56	64	1	23	24	2	8	10	11	87	98
10 特発性血小板減少性紫斑病	6	14	20	3	6	9	2	6	8	11	26	37
11 結節性動脈周囲炎	4	6	10	1	3	4	—	2	2	5	11	16
12 潰瘍性大腸炎	90	108	198	30	42	72	29	15	44	149	165	314
13 大動脈炎症候群	1	6	7	—	2	2	—	1	1	1	9	10
14 ビュルガー病	3	1	4	1	—	1	1	—	1	5	1	6
15 天疱瘡	3	6	9	1	2	3	—	2	2	4	10	14
16 脊髄小脳変性症	17	10	27	8	9	17	2	5	7	27	24	51
17 クロウン病	39	13	52	11	5	16	4	3	7	54	21	75
18 難治性肝炎のうち劇症肝炎	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
19 悪性関節リウマチ	5	9	14	—	6	6	—	3	3	5	18	23
20 パーキンソン病関連疾患	82	133	215	27	31	58	18	15	33	127	179	306
21 アミロイドーシス	2	—	2	—	1	1	—	1	1	2	2	4
22 後縦靭帯骨化症	24	11	35	13	8	21	4	5	9	41	24	65
23 ハンチントン病	1	—	1	1	—	1	—	—	0	2	0	2
24 モヤモヤ病（ウイルス動脈輪閉塞症）	6	8	14	1	1	2	—	1	1	7	10	17
25 ウェゲナー肉芽腫症	3	1	4	1	1	2	—	—	0	4	2	6
26 特発性拡張型（うっ血型）心筋症	26	8	34	7	—	7	4	—	4	37	8	45
27 多系統萎縮症	12	10	22	3	5	8	—	—	0	15	15	30
28 表皮水疱症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
29 膿疱性乾癬	—	2	2	1	—	1	—	—	0	1	2	3
30 広範脊柱管狭窄症	2	2	4	2	3	5	3	—	3	7	5	12
31 原発性胆汁性肝硬変	3	26	29	—	4	4	2	4	6	5	34	39
32 重症急性膵炎	—	1	1	—	—	0	—	—	0	0	1	1
33 特発性大腿骨頭壊死症	7	14	21	5	4	9	2	3	5	14	21	35
34 混合性結合組織病	1	12	13	—	3	3	—	4	4	1	19	20
35 原発性免疫不全症候群	2	1	3	—	—	0	—	—	0	2	1	3
36 特発性間質性肺炎	5	3	8	4	1	5	3	1	4	12	5	17
37 網膜色素変性症	16	23	39	10	12	22	5	—	5	31	35	66
38 プリオン病	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
39 肺動脈性肺高血圧症	2	—	2	—	—	0	—	—	0	2	0	2
40 神経線維腫症	—	1	1	1	—	1	1	—	1	2	1	3
41 亜急性硬化性全脳炎	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
42 バッド・キアリ症候群	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
43 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	—	3	3	—	1	1	—	—	0	0	4	4
44 ライソゾーム病	3	—	3	—	—	0	—	—	0	3	0	3
45 副腎白質ジストロフィー	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
46 家族性高コレステロール血症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
47 脊髄性筋萎縮症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
48 球脊髄性筋萎縮症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	—	1	1	—	1	—	—	0	2	0	2
50 肥大型心筋症	—	—	0	1	1	2	—	—	0	1	1	2
51 拘束型心筋症	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
52 ミトコンドリア病	1	—	1	1	—	1	—	—	0	2	0	2
53 リンパ脈管筋腫症	—	—	0	—	1	1	—	—	0	0	1	1
54 重症多形滲出性紅斑	—	—	0	—	—	0	—	—	0	0	0	0
55 黄色靭帯骨化症	1	—	1	—	—	0	—	—	0	1	0	1
56 間脳下垂体機能障害	9	16	25	—	2	2	1	—	1	10	18	28
計	430	644	1074	153	231	384	95	97	192	678	972	1,650

(2) 相談

区 分	面接	電話	文書	計
件 数	125	426	38	589

(3) 訪問指導

区 分	膠原病		血液系		循環器系		神経系		消化器系		計	
	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数
件 数	—	—	—	—	—	—	28	78	—	—	28	78

(4) 医療相談等

区 分	回数	対象疾患	内 容	講師等	参加人員
講演会	2	網膜色素変性症	・網膜色素変性症の病気の理解～最新治療と今後の展望～ ・交流会	北鎌倉眼科院長 医師 西尾佳晃氏 日本網膜色素変性症協会 岸勝利氏	62
		後縦靭帯骨化症	・後縦靭帯骨化症の病気の理解と最新治療について	横浜南共済病院 整形外科部長 医師 近藤総一氏	50
相談会	24	全疾患	・療養生活について	保健師	121
患者・家族の交流会 (らく楽の会)	12	全疾患	・体操、レクレーション ・絵手紙 ・音楽会 ・大道芸 ・書道 ・健康づくり	スポーツプログラマー 橘高靖子氏 美術教師 松浦みどり氏 ハモル会フィーリング 赤羽宏之氏 大道芸人 長雄廉治氏 書道講師 佐藤裕子氏 当所歯科医師、歯科衛生士、栄養士、保健師	72

(5) 訪問相談

看護師による訪問相談を行いました。

対象者数	延べ数
2	12

(6) 難病患者等ホームヘルパー養成研修

()は当所内訳

月 日	内 容	講 師	参加人員
6月25日	・難病の保健医療福祉制度 ・難病の基礎知識(その1) ・難病の基礎知識(その2)	鎌倉保健福祉事務所保健師 北里大学東病院 医師 荻野美恵子氏 患者家族 平野薫氏	94 (17)

(茅ヶ崎保健福祉事務所、小田原保健福祉事務所、平塚保健福祉事務所、三崎保健福祉事務所と共催で実施)

(7) 在宅療養支援計画策定・評価事業

月 日	内 容	出席人員
2月14日	・難病療養者の災害時支援とは～難病患者固有の必要な支援について～ ・逗子小坪地区における災害時要援護障害者支援制度運用訓練 ・難病療養者災害時緊急対応シミュレーション	13

5 原爆被爆者援護

原子爆弾被爆者援護法及び神奈川県原子爆弾被爆者等の援護に関する要綱に基づき、定期健康診断を実施するとともに、被爆者及びそのこどもを対象に被爆者健康手帳等の交付申請や医療費・各種手当の支給申請を受け付けました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

区 分	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
被爆者健康手帳	214	63	21	298
第一種健康診断受診者証	1	1	—	2
第二種健康診断受診者証	4	2	—	6
被爆者のこども健康診断受診証	158	61	18	237
計	377	127	39	543

(2) 被爆者等定期健康診断受診状況

区 分	被爆者	特例受診	被爆者のこども	計
2008(平成20)年度計	10	—	5	15
2009(平成21)年度計	9	—	2	11
2010年度 (平成22)	第1回 5月	—	2	5
	第2回11月	1	1	5
	計	6	3	10

6 認知症対策

認知症患者及びその家族が地域の中でよりよい生活が送れるように、相談・訪問指導を行うとともに、地域支援事業を実施しました。

(1) 認知症患者の状況

認知症患者数（当所把握数）

市町名	年 齢					計
	60歳代以下	70歳代	80歳代	90歳代	不明	
鎌倉市	13	22	30	6	—	71
逗子市	—	6	6	1	—	13
葉山町	1	1	—	—	—	2
計	14	29	36	7	0	86

(2) 認知症相談

認知症についての相談を面接や電話にて行いました。

ア 相談内容

区 分	件 数	内 容（延べ件数）						
		疾病一般	問題行動	治療関係	看護介護	入院入所	介護保険サービス	その他
精神科医の 定例相談	27	22	10	16	0	2	4	0
保健師等の 随時相談	267	128	96	101	10	32	68	28
計	294	150	106	117	10	34	72	28

イ 相談対象と方法

区 分	件 数	対 象		方 法			
		新規相談	継続相談	電 話	面 接	訪 問	文書等
定例相談	27	27	—		22	5	—
随時相談	267	94	173	261	6	—	—
計	294	121	173	261	28	5	0

(3) 訪問指導

日常生活に看護や介護を要する本人及び家族に対し、認知症の対応について助言・指導を行いました。

ア 性別

市町名	男		女		計	
	実 数	延べ数	実 数	延べ数	実 数	延べ数
鎌倉市	4	9	14	41	18	50
逗子市	3	5	1	2	4	7
葉山町	—	—	2	5	2	5
計	7	14	17	48	24	62

イ 年齢別

市町名	60歳代以下	70歳代	80歳代	90歳代	計
鎌倉市	3	4	9	2	18
逗子市	—	2	1	1	4
葉山町	2	—	—	—	2
計	5	6	10	3	24

(4) 処遇困難事例検討事業

高齢者の尊厳が尊重される社会の実現に向け、認知症や高齢者虐待についての理解を深め、必要な体制が整備されるよう、研修会や事例検討会等を実施しました。

ア 研修会及び講演会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
1月29日	鎌倉市福祉センター	・認知症になっても地域でその人らしく暮らすために	認知症介護研究・研修センター 研究部副部長 永田久美子氏	182
3月3日	鎌倉保健福祉事務所	・認知症についての理解と対応方法 ～レビー小体型認知症を中心に～	認知症高齢者研究所 所長 羽田野政治氏	43

イ 事例検討会

月 日	場 所	内 容	助 言 者	参加人員
3回	各機関	関係機関の依頼に応じて参加(高齢者虐待を含む)	なし	14 (延べ)

ウ ネットワーク整備の検討

月 日	場 所	内 容	参加人員
11月24日	鎌倉保健福祉事務所	・保健福祉事務所サービス連携調整会議 地域精神部会 うつ病認知症等早期発見検討ワーキング	21

(5) 地域支援

認知症の方を抱える家族・一般住民に対し、認知症の理解と介護について、講座等を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
1月27日	鎌倉静養館	・高齢者の心の健康について	53

7 精神保健福祉

(1) 相談・訪問指導

受診、病気の治療、日常生活、社会復帰等について、医師、福祉職、保健師等が相談・訪問を行いました。

ア 把握区分

区分	人数		保健所 把握新 (注1)	年度新 (注2)	再
	実人員	延べ人員			
相談	407	1,339	247	160	932
訪問	93	228	7	86	135

注1) 保健所で初めて取り扱ったケース

注2) 過去に把握したが22年度に再度相談・訪問したケース

イ 相談（性別・年齢別）

区分	性別			年齢								
	男	女	不明	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	不明
実人員	209	196	2	0	9	38	60	70	36	16	121	57
延べ人員	686	648	5	0	16	82	136	365	182	129	363	66

ウ 訪問（性別・年齢別）

区分	性別			年齢								
	男	女	不明	0～10歳	10～20歳	20～30歳	30～40歳	40～50歳	50～60歳	60～65歳	66歳以上	不明
実人員	50	42	1	—	1	9	11	14	14	5	36	3
延べ人員	130	97	1	—	2	13	21	20	60	16	92	4

エ 相談・訪問契機別

区分	実人員	病院	市町村	その他
相談	407	22	24	361
訪問	93	7	10	76

オ 相談・訪問問題別

区分	実人員	治療の問題	生活上の問題	社会復帰の問題	その他
相談	407	160	139	9	99
訪問	93	28	46	2	17

カ 被面接者

区分	本人	家族	関係者	その他	計
相談	400	538	231	209	1,378
訪問	106	109	54	71	340

キ 診断名

区 分	実 人 員	失 調 症 合	認 知 症	う そ つ 病 う	て ん か ん	ル ア ル コ 依 存	薬 物 依 存	人 成 格 障 害 の	関 連 障 害 ス	精 神 障 害 の	診 断 保 留	認 異 め 常 ず と	未 受 診	不 明
相 談	407	92	65	46	4	8	2	11	12	11	5	3	66	82
訪 問	93	30	18	5	3	3	1	2	1	3	2	1	10	14

ク 担当者

区 分	医 師	福 祉 職	保 健 師	そ の 他	延 件 数
相 談	60	589	754	13	1,416
訪 問	22	120	116	85	343

(2) 教育広報活動

ア ハンドブックの作成

精神障害者のための制度と福祉サービスのハンドブックを作成し、当事者・家族・関係機関に配布しました。

イ 精神保健福祉協力者の育成指導

一般市民を対象にした精神保健福祉ボランティア講座の運営委員会に出席し、企画・実施・講義等の支援を行いました。

(ア) ボランティア講座

月 日	対 象	内 容	参 加 人 員
10月～3月	一般市民	鎌倉市精神保健福祉ボランティア講座（全7回）	36

(イ) ボランティア参加状況

区 分	回 数	参 加 人 員	
		実 人 員	延 べ 人 員
障害者クラブ	12	8	69

ウ 講師派遣

関係職員の研修、ボランティア講座等で講義を行いました。

内 容	回 数
精神保健ボランティア講座(鎌倉市、葉山町)	1
サービス管理責任者研修	1

(3) 団体支援及び連携

地域作業所など生活支援事業所の連絡会に参加し、断酒会（鎌倉逗子断酒会）の例会活動等に対して、助言を行いました。

区 分	回 数	内 容
断酒会	2	例会・研修会
障害者クラブ	1	若竹会
その他	3	神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会鎌倉逗葉ブロック

(4) 社会復帰の支援

ア 集団指導活動

統合失調症の家族を対象に、地域生活サポートセンターとらいむと共催で家族講座を実施した他、アルコール依存症の本人・家族を対象にアルコール教室を実施しました。

また、必要に応じて社会復帰施設等の利用を紹介し、社会参加の支援を行いました。

区 分	回 数	参 加 人 員		内 容
		実 人 員	延 べ 人 員	
家 族 講 座	4	5	28	・講話「統合失調症について」 講師 藤沢病院 医師 岸田郁子氏
				・講話「当事者とのかかわり方やケアについて」 講師 林間病院 看護部長 武藤勝寿氏
				・講話「福祉制度について」 講師 鎌倉市・逗子市・葉山町精神保健担当職員
				・講話「地域の支援について」 講師 地域生活サポートセンターとらいむ 藤井要子氏 ・当事者の話
アルコール教室	12	25	74	・アルコール依存症の学習、グループミーティング
計	16	30	102	

イ 普及啓発

統合失調症の当事者や家族が、病気と上手につき合いながら地域で生活していくため、病気について知り、体験談を聞く機会として、地域生活サポートセンターとらいむ・家族会と共催で精神保健福祉セミナーを実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加人員
11月5日	・講演「病気とのつき合い方について」	精神保健福祉センター 精神科医 三好彩氏	79
11月29日	・講演「自立とは・・・」	当事者と家族 地域の支援者（鎌倉・逗子・葉山の事業所職員）	78
12月 4日	・講演「働く現場からのメッセージ」 当事者の体験談と雇用主の話	当事者2名 株式会社アイネット・データサービス部長 池田真人氏 雪ノ下診療所 院長 野村満氏	83

(5) 医療保護関係事務

精神保健福祉法に基づく精神保健指定医による診察や、精神病院の实地指導・審査を行い、病院の実態を把握し、よりよい医療や入院制度の適正化を図りました。

ア 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく申請（23条）及び通報（24条、26条の2）に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行いました。

区 分	件 数	指 定 医 診 察 結 果					不実施	
		要 措 置	不 要 措 置			受療 指導等	その他	
			入 院	入 院 外	医 療 不 要			
23条	0	—	—	—	—	—	—	
24条	12	7	1	1	—	1	2	
26条の2	0	—	—	—	—	—	—	
計	12	7	1	1	0	1	2	

イ 精神病院実地指導・実地審査（法38条の6）

（ア）精神保健福祉法に基づく精神病院に対する実地指導

箇所数	施設名
1	林間病院

（イ）精神保健福祉法に基づく実地審査（措置入院者・医療保護入院者の精神保健指定医の診察）

施設名	審 査 結 果					
	医 療 保 護 入 院			任 意 入 院		
	継 続	移 行	入院不要	継 続	移 行	入院不要
林間病院	2	—	—	1	—	—

ウ その他医療保護事務

区 分	件 数
入退院届（法33の1他）	69
定期病状報告（法38条の2）	12

（6）会議

関係各機関・団体を対象に、管内の地域特性に応じた精神保健福祉対策の推進について検討しました。

ア 保健福祉サービス連携調整会議（地域精神保健福祉部会）

地域の自殺に関する統計を出し、自殺予防について検討しました。また、地域自殺対策検討、うつ病認知症早期発見のワーキングを開催しました。

月 日	内 容	出席人員
1月24日	・地域で取り組む自殺対策 ・地域自殺対策検討 ・うつ病・認知症早期発見のワーキングの報告	25

（ア）ワーキング

内 容	回数
地域自殺対策	3
うつ病認知症早期発見	1

イ 管内市町等精神保健福祉担当者連絡会

月 日	出 席 者	内 容	出席延人員
5月13日 10月14日 3月10日	市町：精神保健福祉担当者 管内相談支援事業所 居宅介護支援事業所等	・各機関の精神保健福祉業務 の状況、情報交換	34

ウ ケース会議

具体的な事例を通し、関係者間で検討を行いました。

回 数	出 席 者	出 席 延 人 員
5	市町（市民健康課・福祉課等担当者）、 相談支援事業所等 助言者：精神保健福祉センター医師	52

エ 市町等主催の会議への出席

会 議 名	回 数
鎌倉市自立支援協議会	4
逗子市自立支援協議会	1

(7) 社会的ひきこもり支援事業

狭義の精神疾患が原因ではない「社会的ひきこもり」を対象に支援事業を実施しました。

ア 普及啓発

<講演会> (藤沢市保健所、平塚保健福祉事務所、茅ヶ崎保健福祉事務所、精神保健福祉センター、青少年センターと共催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
6月26日 7月 4日 7月17日	藤沢市保健所	・ひきこもりを考える 家族セミナー	精神科医 増田直樹氏 臨床心理士 浜田房子氏 CLCA (子どもと生活文化 協会) 松浦隆氏 ひきこもり体験者と家族	222

イ 集団指導

ひきこもりの当事者を抱える家族の話合いの場として、家族教室を開催しました。

区 分	回数	参加人員	
		実人員	延べ人員
家族教室	11	16	93

ウ 地域ひきこもり支援企画委員会

ひきこもりの支援について、関係者・関係機関との連携を深め、より地域にあった支援ができるよう、普及啓発・調査及び家族教室について企画を行う委員会を実施しました。

月 日	出 席 者	内 容	出席人員
5月19日 1月19日	遊悠楽舎代表 (フリースペース)、 カマクラ「風の谷」 (不登校親の会)、 藤沢市保健所、精神保健福祉センター	・前年度までのひきこもり 支援事業、他所の実施 状況報告 ・22年度家族教室、講演会の 内容、進行についての企画 検討	14

(8) こころといのちのサポート事業

ア 講演会 いきるを支える鎌倉・逗子・葉山実行委員会

(鎌倉市・逗子市・葉山町・精神保健福祉センター・神奈川県精神保健福祉協会・こころに平和を実行委員会・地域生活サポートセンターとらいむ・就労サポートセンターまいんど)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月23日	鎌倉芸術館	<自殺対策シンポジウム> ・基調講演 ・シンポジウム	柳田邦男氏 竹島正氏 (自殺予防総合対策センター所長) 山口和浩氏 (NPO自死遺族支援ネットワークRe代表) 久田恵氏 (ノンフィクション作家) 松本俊彦氏 (自殺予防総合対策センター副センター長) 桑原寛氏 (精神保健福祉センター長)	427

イ 企画展 (鎌倉市、逗子市、葉山町共催)

月 日	場 所	内 容	講 師 等	参加人員
9月28日 ～10月3日	鎌倉市生涯学習センター	コンサート、絵画展 写真展、相談会 ギャラリートーク	EPO氏 (歌手) 石井麻木氏 (写真家)	597

ウ 研修会

事業所の事業主・安全衛生管理者・労務担当者等を対象に、職域におけるメンタルヘルス対策の研修会を開催しました。

(ア) 藤沢労働基準監督署管内対象 (主催：当所・茅ヶ崎保健福祉事務所・藤沢市保健所・藤沢労働基準監督署)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月2日	藤沢市保健所	・講演「うつ病の職場復帰支援について」	NPO法人MDA(うつ、気分障害協会)理事 山口律子氏	79

(イ) 横須賀労働基準監督署管内対象 (主催：精神保健福祉センター、当所は共催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月17日	横須賀市生涯学習センター	・講演「メンタルヘルス不調のサインに気づき対応するには！」	産業保健相談員 新津谷真人氏	84

エ うつ病家族セミナー

うつ病で治療中の家族を対象に、うつ病の正しい知識を深めるとともに再発予防ならびに家族の対応について理解することを目的に開催しました。(精神保健福祉センター主催、当所は共催)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
11月1日 11月18日 11月30日	鎌倉保健福祉事務所	講演 ・うつ病を知ろう～うつ病の概論 ・うつ病の治療とは？～治療と薬の話 ・家族はどう接したらいいの？～具体的な対応について	横浜市立大学病院医師 古野拓氏 藤沢病院医師 岸田郁子氏 NPO法人MDA(うつ、気分障害協会)理事 山口律子氏	40

第6章 環境衛生課

環 境 衛 生 課 業 務

安全で快適な生活環境を確保するため、環境衛生営業施設、水浴場、特定建築物、水道施設等の衛生確保対策及び動物保護対策を推進しています。

また、医薬品等の安全性の確保、毒物劇物による危害防止に努めています。

1 環境衛生営業施設等の衛生確保

理容・美容所、旅館等環境衛生関係営業6業種及び水浴場等の許認可、監視指導を実施するとともに、営業者による自主管理の推進を指導し、また、旅館、理容所及び水浴場関係者に対して衛生講習会を実施しました。さらに、海水浴場の水質検査を実施しました。

2 生活環境施設等の衛生確保

浄化槽の維持管理指導、多数の人が利用する大規模建築物内の空気環境の衛生管理指導や専用水道、簡易専用水道、小規模受水槽水道の維持管理指導等を実施しました。

また、室内環境に起因する健康被害（アレルギー、シックハウス症候群）の軽減と未然防止のため、情報提供、個別相談等を実施しました。

3 動物保護対策

犬に係る苦情やこう傷事故の処理を通じて、正しい飼い方の指導を行いました。また、飼養動物等に係わる苦情処理及び相談業務を行いました。

4 医薬品等の安全性確保

薬局、医薬品販売業、医薬品製造業等の監視指導を実施しました。

毒物劇物による危害を防止するため、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者等に対し、毒物劇物の適正な取り扱いを指導しました。

また、薬物乱用防止啓発として、各種啓発資材の配布を行うとともに、関係機関との連絡調整に努めました。

1 環境衛生営業施設等の衛生確保

(1) 環境衛生営業施設数及び監視指導状況

環境衛生関係営業施設の構造設備、衛生措置等について、監視指導を実施しました。

業種	項目	施設数	市町別施設数内訳			許可(確認) 件数	廃止 件数	監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町			
理容所		124	87	26	11	2	1	50
美容所		365	232	101	32	15	8	109
クリーニング所		184	121	46	17	6	6	62
旅館		90	48	6	36	4	4	51
興行場		5	3	1	1	—	—	2
公衆浴場		29	20	5	4	1	2	8
計		797	511	185	101	28	21	282

(2) 水浴場等施設数及び監視指導状況

水浴場、更衣休憩所及びプールの衛生管理と危険防止策について、監視指導を実施しました。

業種	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
水浴場		7	3	1	3	63
更衣休憩所		67	23	26	18	563
プール		33	18	9	6	28
計		107	44	36	27	654

(3) 講習会開催状況

対象者	開催回数	参加人員
水浴場関係営業	3	121
旅館業	2	44
美容所営業	1	175
計	6	340

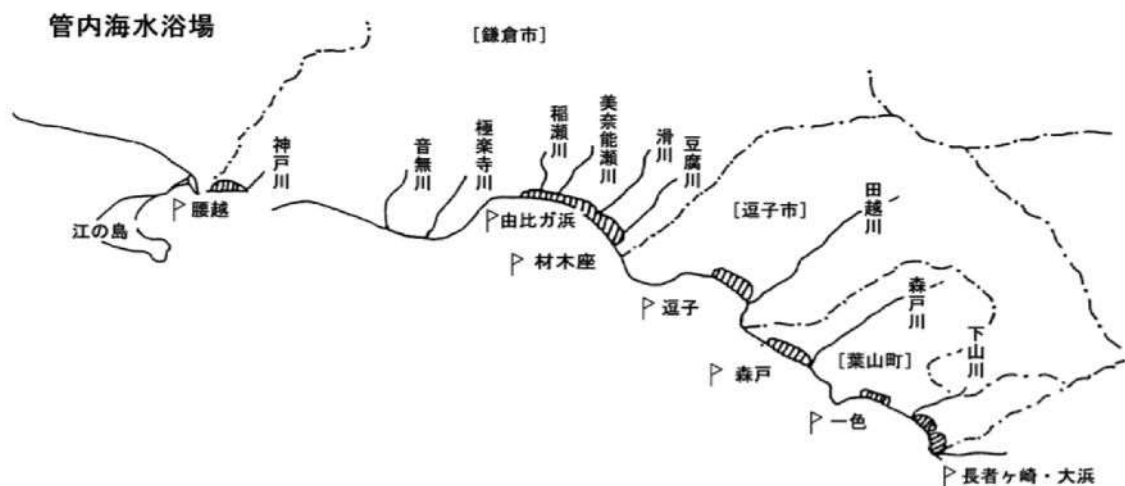
(4) 免許事務取扱い件数

業種	免許申請	書換・訂正	再交付
クリーニング師	—	—	—

(5) 海水浴場の水質検査実施状況

管内7海水浴場（10地点）の水質検査を実施しました。

海水浴場	実施時期	ふん便性大腸菌群数 (個/100ml)		C O D (mg/l)		透明度 (m)	p H MIN~MAX	油膜	判定	
		MIN~MAX	平均値	MIN~MAX	平均値					
鎌倉	腰越	シーズン前	<2~66	17	1.6~2.4	2.0	1<	8.2~8.3	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	1.0~2.0	1.7	1<	8.2~8.3	無	AA
	由比ガ浜	シーズン前	<2~10	3	1.6~2.9	2.1	1<	8.2~8.3	無	B
		シーズン中	<2~4	<2	1.3~2.4	1.9	1<	8.2~8.3	無	AA
	材木座	シーズン前	<2~<2	<2	1.7~2.0	1.9	1<	8.3~8.3	無	AA
		シーズン中	<2~2	<2	1.4~2.5	1.8	1<	8.2~8.3	無	AA
逗子	逗子	シーズン前	<2~2	<2	1.7~2.1	2.0	1<	8.2~8.3	無	AA
		シーズン中	<2~2	<2	1.4~2.1	1.8	1<	8.1~8.4	無	AA
葉山	長者ヶ崎・大浜	シーズン前	<2~30	8	1.3~3.2	2.0	1<	8.2~8.4	無	A
		シーズン中	<2~2	<2	1.2~2.0	1.7	1<	8.3~8.3	無	AA
	一色	シーズン前	<2~2	<2	1.2~1.9	1.6	1<	8.2~8.3	無	AA
		シーズン中	<2~<2	<2	1.2~1.9	1.7	1<	8.1~8.4	無	AA
	森戸	シーズン前	<2~144	36	1.4~2.3	1.9	1<	8.3~8.3	無	A
		シーズン中	<2~100	26	1.0~2.4	1.6	1<	8.1~8.4	無	A



2 生活環境施設等の衛生確保

(1) 浄化槽設置基数及び監視指導状況

浄化槽の設置届の受理及び立入検査等を行い、設置者等に対し適正な維持管理指導を実施しました。

ア 市町村別設置基数と監視指導件数

設置基数 (合計)	市町村別設置基数内訳			監視指導件数
	鎌倉市	逗子市	葉山町	
20,034	10,721	497	8,816	34

イ 浄化槽基数の推移 (5年間)

年 度	市町名	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2006 (平成18) 年度		10,827	510	8,960	20,297
2007 (平成19) 年度		10,747	503	8,838	20,088
2008 (平成20) 年度		10,732	503	8,828	20,063
2009 (平成21) 年度		10,718	502	8,849	20,069
2010 (平成22) 年度		10,721	497	8,816	20,034

ウ 大規模浄化槽の監視指導

処理対象人員	基 数	監視指導件数
501～2,000人	3	3
2,001人以上	1	1
計	4	4

エ 浄化槽届出状況

区 分	項 目	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2009 (平成21) 年度末設置数		10,718	502	8,849	20,069
2010 (平成22) 年度設置数		25	1	82	108
2010 (平成22) 年度廃止数		22	6	115	143
2010 (平成22) 年度末設置数		10,721	497	8,816	20,034

(2) 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

保守点検業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
17	6	5

(3) 特定建築物施設数及び監視指導状況

特定建築物 (建築延面積3000m²以上の特定用途に供する建物。学校は同8000m²以上のもの) の衛生的環境を確保するため、立入検査及び指導を実施しました。

業 種	市町名	施設数	市町村別設置基数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
興 行 場		3	1	1	1	—
集 会 場		3	3	—	—	—
美 術 館		1	—	—	1	—
店 舗		12	9	2	1	2
事 務 所		5	3	1	1	—
学 校		6	4	2	—	2
そ の 他 の 学 校		2	1	—	1	2
旅 館		8	5	—	3	4
遊 技 場		1	1	—	—	1
計		41	27	6	8	11

(4) 建築物登録業営業所数及び監視指導状況

衛生管理業務が適正に行われるよう、営業所の監視指導を実施しました。

業種	項目	登録営業所数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
清掃業		4	2	1	1	—
空気環境測定業		1	—	1	—	1
貯水槽清掃業		8	5	3	—	5
ねずみ昆虫等防除業		3	—	3	—	1
総合管理業		1	—	—	1	—
計		17	7	8	2	7

(5) 水道施設数及び監視指導状況

専用水道及び簡易専用水道（受水槽の有効容量が10m³を超える施設）について、維持管理指導を実施しました。

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
専用水道		13	10	1	2	9
簡易専用水道		396	256	86	54	31
計		409	266	87	56	40

(6) 小規模水道等施設数及び監視指導状況

小規模受水槽水道（受水槽の有効容量が10m³以下の施設）について、維持管理指導を実施しました。

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
小規模受水槽水道		422	291	70	61	20

(7) 住まいと健康サポートシステムの推進

住環境に起因すると思われる健康被害の改善や発生を防止するため、県民へ住まいや住まい方に関する情報を提供するとともに、個別相談を受け、必要に応じて居住環境調査、室内環境測定を実施しました。

ア 相談処理状況

区分	項目	室内空気環境	昆虫等	その他	計
件数		4	61	24	89

イ 居住環境調査実施状況

区分	項目	実施件数
虫の同定		8

(8) 温泉施設数及び監視指導状況

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
温泉		4	2	1	1	1

(9) 墓地等施設数及び監視指導状況

区分	項目	施設数	監視指導件数
墓地		518	1
納骨堂		5	—
火葬場		1	—
計		524	1

(10) 苦情・相談等処理状況

区分	項目	浄化槽	ねずみ、昆虫等水道、井戸関係	その他	計	
件数		20	61	11	35	127

3 動物保護対策

(1) 飼えなくなった犬、猫等の引き取り

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	犬	5	1	0	6
	猫	1	0	0	1
	規則で定める動物	—	—	—	0
	計	6	1	0	7

(2) こう傷事故の発生状況

こう傷犬の狂犬病罹患の有無を確認するとともに、事故の再発防止のため、飼い主に対し飼育管理指導を実施しました。

区分	項目	市町別件数内訳			計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	件数	15	5	3	23

(3) 犬、猫等の苦情相談の処理状況

区分	項目	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害	負傷猫	失踪保護	その他	計
	件数	4	23	72	14	239	1	353

(参考事項)

市町の犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況

ア 犬の登録頭数

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	登録頭数	11,294	3,790	2,608	17,692

イ 犬の登録頭数の推移

年度	鎌倉市	逗子市	葉山町	計
2006（平成 18）年度	10,462	3,532	2,452	16,446
2007（平成 19）年度	10,859	3,703	2,521	17,083
2008（平成 20）年度	11,089	3,720	2,524	17,333
2009（平成 21）年度	11,202	3,748	2,612	17,562
2010（平成 22）年度	11,294	3,790	2,608	17,692

ウ 犬の新規登録及び狂犬病予防注射の実施

区分	項目	市町別頭数内訳			頭数計
		鎌倉市	逗子市	葉山町	
	新規登録	772	298	215	1,285
	狂犬病予防注射	8,985	3,170	1,908	14,063

4 医薬品等の安全性確保

(1) 薬局・医薬品販売業等施設数及び監視指導状況

薬局、医薬品販売業及び製造業等に対し、医薬品等の取り扱い・管理状況等について、監視指導を実施しました。

種別		項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
				鎌倉市	逗子市	葉山町	
薬 局			119	80	34	5	61
医薬品販売業	店 舗 販 売		25	16	5	4	13
	卸 売 販 売		2	2	—	—	2
	薬 種 商 販 売		0	—	—	—	—
	特 例 販 売		0	—	—	—	—
	小 計		27	18	5	4	15
薬 局 医 薬 品 製 造 業			5	5	—	—	3
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業			5	5	—	—	3
医 薬 品 等 製 造 業 ・ 製 造 販 売 業			18	11	3	4	4
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 ・ 賃 貸 業			72	45	23	4	45
管 理 医 療 機 器 販 売 ・ 賃 貸 業			427	295	102	30	97
計			673	459	167	47	228

(2) 薬局・医薬品販売業等許可・届出取扱い件数

種別		項目	新 規 許 可 等	許 可 更 新	許 可 証 書 換	許 可 証 再 交 付	変 更 届	廃 止 届	承 認 整 理 届	計
医薬品販売業	店 舗 販 売		4	—	—	—	46	4	—	54
	卸 売 販 売		—	—	—	—	2	2	—	4
	薬 種 商 販 売		—	—	—	—	—	—	—	0
	特 例 販 売		—	—	—	—	—	—	—	0
	小 計		4	0	0	0	48	6	0	58
薬 局 医 薬 品 製 造 業			—	1	—	—	1	1	—	3
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業			—	1	—	—	1	1	—	3
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 ・ 賃 貸 業			5	26	—	—	28	2	—	61
管 理 医 療 機 器 販 売 ・ 賃 貸 業			71	—	—	—	20	84	—	175
計			90	51	0	0	378	101	0	620

(3) 毒物・劇物販売業等施設数及び監視指導状況

毒物劇物による保健衛生上の危害を防止するため、毒物劇物販売業者、業務上取扱者の監視指導を実施しました。

種別		項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
				鎌倉市	逗子市	葉山町	
毒物劇物販売業	一 般 販 売		55	39	14	2	37
	農 業 用 品 目 販 売		4	3	1	—	1
	特 定 品 目 販 売		1	—	1	—	—
	小 計		60	42	16	2	38
業務上取扱者	電 気 め っ き 業		1	1	—	—	—
	熱 処 理 業		1	1	—	—	—
	小 計		2	2	0	0	0
毒 物 劇 物 製 造 ・ 輸 入 業			3	3	—	—	2
特 定 毒 物 研 究 者			3	3	—	—	—
計			68	50	16	2	40

(4) 毒物・劇物販売業等登録・届出取扱い件数

種別	項目	新規登録	登録更新	登録票書 書 換	登録票書 再 交 付	取扱責任 者設置届	取扱責任 者変更届	変更届	廃止届	計
		毒物劇物販売業	一般販売	3	14	—	—	2	13	2
農業用品目販売	—		2	—	—	—	2	—	—	4
特定品目販売	—		1	—	—	—	—	—	1	2
小 計	3		17	0	0	2	15	2	5	44
業務上取扱者	電気めっき業	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	熱処理業	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		3	17	0	0	2	15	2	5	44

(5) 麻薬等業務所数及び監視指導状況

麻薬業務所に対し、麻薬の適正管理について、監視指導を実施しました。

種別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導 件 数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
麻薬業務所	診療施設(病院)	16	14	2	—	17
	〃(診療所)	104	65	29	10	5
	〃(動物診療所)	34	21	10	3	1
	小 売 業	77	59	13	5	44
	卸 売 業	0	—	—	—	—
	研 究 施 設	7	7	—	—	2
向精神薬研究施設		6	6	—	—	2
計		244	172	54	18	71

(6) 麻薬免許事務等取扱い件数

ア 麻薬取扱者免許関係

免許の別	項目	免 許 申 請			変更届	廃止届	返納届	再交付	計
		新 規	継 続	計					
麻薬研究者		3	2	5	3	1	2	—	11
麻薬管理者		9	18	27	—	7	10	—	44
麻薬施用者		78	190	268	229	28	163	—	688
麻薬小売業者		9	34	43	3	5	35	—	86
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	—	0
計		99	244	343	235	41	210	0	829

イ 麻薬業務所関係

種別	項目	廃棄届	調剤済 廃棄届	所有届	譲渡届	事故届	年間届	計
麻薬診療施設		8	72	12	3	4	138	237
麻薬小売業施設		8	21	6	5	1	78	119
麻薬卸売業者		—	—	—	—	—	—	0
麻薬研究施設		2	—	—	—	—	5	7
計		18	93	18	8	5	221	363

ウ 向精神薬関係

種別	項目	登録申請	変更届	廃止届	年間届	事故届	計
向精神薬研究施設		—	2	—	6	—	8
診療施設・薬局		—	—	—	—	1	1
計		0	2	0	6	1	9

(7) 覚せい剤取扱者数及び監視指導状況

覚せい剤取扱者等の指定を受けた者に対し、覚せい剤等の適正管理について、監視指導を実施しました。

指定の別	項目	施設数	市町別施設数内訳			監視指導件数
			鎌倉市	逗子市	葉山町	
覚せい剤研究者		1	1	—	—	—
覚せい剤原料取扱者		1	1	—	—	—
計		2	2	0	0	0

(8) 覚せい剤事務取扱い件数

指定の別	項目	新規申請	継続申請	廃棄届	変更届	廃止届	失効報告	年間届	計
覚せい剤研究者		1	—	—	1	—	—	—	2
覚せい剤原料取扱者		—	—	1	1	—	—	—	2
計		1	0	1	2	0	0	0	4

(9) 薬物乱用防止啓発活動

薬物乱用防止街頭キャンペーン、講演会及び学校等における薬物乱用防止教室を通して、薬物乱用防止の啓発を実施しました。また、関係機関及び団体で構成する地域連絡会を開催し、薬物乱用防止に関する連絡調整を行い、一層の普及啓発に努めました。

ア 啓発キャンペーン

月 日	場 所	内 容
5月3日～5日	湘南国際村	・「湘南国際村フェスティバル2010」にて、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
7月23日	鎌倉・大船駅周辺	・「鎌倉地区社会を明るくする運動」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
7月 7日	鎌倉・大船駅周辺	・「青少年健全育成推進街頭キャンペーン」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
10月17日	鎌倉生涯学習センター	・「くすりと健康フェアかまくら」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布
11月12日	鎌倉・大船駅周辺	・「青少年健全育成推進街頭キャンペーン」との合同実施による、啓発用リーフレット及び啓発物品の配布

イ 講演会

月 日	場 所	内 容	参加人員
10月19日	逗子市役所	対象 保護司、薬物乱用防止指導員、学校関係者、関係行政機関職員等 ・講演 「薬物乱用の恐ろしさ」 講師 山梨ダルク施設長 佐々木広氏	65

ウ 地域連絡会

月 日	場 所	内 容	出席人員
3月8日	鎌倉保健福祉事務所	各機関及び団体における薬物乱用防止活動の状況について	16

エ 薬物乱用防止研修会

月 日	場 所	内 容	参加人員
6月18日	鎌倉保健福祉事務所	対象 薬物乱用防止指導員 講話 「薬物鑑定から見た乱用薬物の変遷について」 講師 県警科学捜査研究所 所員	16

オ 薬物乱用防止教室

月 日	場 所	内 容	参加人員
2月24日	鎌倉市立第一中学校	対象 中学3年生 講演 「薬物乱用による被害から身を守るために」 講師 当所 薬事監視員	67
3月 2日	鎌倉市立腰越中学校	対象 中学3年生 講演 「薬物乱用による被害から身を守るために」 講師 当所 薬事監視員	105

第7章 食品衛生課

食 品 衛 生 課 業 務

食品衛生法に基づき、食品関係営業の許認可及び監視指導、食品等の収去検査、食品衛生責任者等に対する講習会を行い、食中毒の予防に努め、食品の安全性確保を図っています。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品衛生法に基づく営業許可(22業種)、県条例に基づく営業許可(3業種)、県条例に基づく報告営業(8業種)及び給食施設について許認可事務を行うとともに監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。また、調理師免許等の関係事務を行いました。

2 食品等の収去検査

食品、添加物、器具及び容器包装の収去検査において、消費量の多いものや食品事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等についての講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

4 食中毒の処理

食中毒発生に際し迅速かつ的確な調査を実施し、原因究明に努めるとともに適切な措置を講じ、事故の拡大及び再発防止に努めました。

5 食品関係等の苦情処理

消費者等からの食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

1 食品営業施設の許認可事務及び監視指導

食品営業施設の許認可事務を行うとともに監視指導を実施し、食品事故の発生防止に努めました。
また、調理師免許等の関係事務を実施しました。

(1) 許可を要する営業施設

種別	項目	施設数				許可取扱数		廃業件数	監視指導件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計	継続	新規		
飲食店営業		2,041	361	285	2,687	338	363	319	2,648
菓子(パンを含む)製造業		182	40	41	263	29	42	22	282
乳処理業		—	—	—	0	—	—	—	—
特別牛乳搾取処理業		—	—	—	0	—	—	—	—
乳製品製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
集乳業		—	—	—	0	—	—	—	—
魚介類販売業		138	44	28	210	37	20	20	262
魚介類売り営業		1	1	—	2	1	—	—	3
魚肉練り製品製造業		2	1	—	3	—	1	—	4
食品の冷凍・冷蔵業		—	—	—	0	—	—	—	—
食品の放射線照射業		—	—	—	0	—	—	—	—
缶詰又は瓶詰食品製造業		1	—	—	1	—	—	—	—
喫茶店営業		294	28	29	351	30	29	41	101
あん類製造業		1	—	—	1	—	—	—	7
アイスクリーム類製造業		4	1	1	6	—	—	—	10
乳類販売業		320	70	40	430	71	27	51	314
食肉処理業		2	2	—	4	—	2	1	14
食肉販売業		113	44	22	179	32	13	17	229
食肉製品製造業		2	—	1	3	—	1	—	5
乳酸菌飲料製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
食用油脂製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
マーガリン又はショートニング製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
みそ製造業		1	—	1	2	—	—	—	2
しょう油製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
ソース類製造業		1	—	—	1	—	—	—	—
酒類製造業		1	—	—	1	1	—	—	3
豆腐製造業		12	1	2	15	3	—	1	22
納豆製造業		1	—	—	1	—	—	—	2
めん類製造業		6	1	—	7	1	1	1	15
総菜製造業		14	2	4	20	1	7	3	20
添加物製造業		—	—	1	1	—	—	—	1
清涼飲料水製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷雪製造業		—	—	—	0	—	—	—	—
氷雪販売業		3	3	2	8	1	—	—	3
小計(1)		3,140	599	457	4,196	545	506	476	3,947
県条例	魚介類行商	3	3	2	8	1	—	—	2
	魚介類加工業	11	5	5	21	2	1	1	20
	はつ酵乳等販売業	22	3	3	28	7	—	1	15
小計(2)		36	11	10	57	10	1	2	37
計		3,176	610	467	4,253	555	507	478	3,984

(2) 許可を要しない営業施設

種別	項目	市 町 別 施 設 数				新規件数	廃業件数	監視指導 件数
		鎌倉市	逗子市	葉山町	計			
給食施設	学 校	27	8	6	41	—	—	52
	病 院 ・ 診 療 所	8	2	3	13	—	2	7
	事 業 所	3	—	2	5	—	—	1
	そ の 他	45	13	9	67	8	4	51
乳 搾 取 業		—	—	—	0	—	—	—
食 品 製 造 業		96	15	24	135	16	1	53
野 菜 ・ 果 物 販 売 業		263	88	42	393	29	15	178
総 菜 販 売 業		163	65	25	253	16	14	182
菓 子 (パ ン を 含 む) 販 売 業		594	148	91	833	44	27	288
食 品 販 売 業 (上 記 以 外)		665	172	112	949	57	31	551
器 具 ・ 容 器 包 装 ・ お も ち ゃ の 製 造 又 は 販 売 業		165	44	26	235	17	11	143
食 品 添 加 物 の 製 造 業		—	—	1	1	—	—	1
食 品 添 加 物 販 売 業		16	4	4	24	2	—	27
氷 雪 採 取 業		—	—	—	0	—	—	—
計		2,045	559	345	2,949	189	105	1,534

(3) 営業施設数の年度別推移 (5年間)

種 別	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)	
許可を要する施設	政令分	4,220	4,206	4,162	4,166	4,196
	条例分	60	57	58	58	57
許可を要しない施設	2,703	2,749	2,781	2,865	2,949	

(4) 調理師免許等関係事務の取扱い

区 分	新 規	書 換	再 交 付
調 理 師	74	3	13
製 菓 衛 生 師	7	0	0
ふ ぐ 包 丁 師	3	3	0
計	84	6	13

2 食品等の収去検査

消費量の多いものや食品事故の原因となりやすい食品等を重点的に食品営業施設から抜き取り検査し、不良食品等の排除に努めました。

(1) 食品等の品目別検査結果

品目	項目	収去 検体数	不適 検体数	不適内訳	
				細菌試験	理化学試験
魚介類		4	—	—	—
冷凍食品		—	—	—	—
魚介類加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		3	—	—	—
肉卵類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		8	—	—	—
乳及び乳製品		—	—	—	—
乳類加工品		—	—	—	—
アイスクリーム類・氷菓		8	—	—	—
穀類及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		6	—	—	—
野菜類・果物及びその加工品 (缶詰・瓶詰を除く)		20	—	—	—
菓子類		18	—	—	—
清涼飲料水		—	—	—	—
酒精飲料		—	—	—	—
缶詰・瓶詰食品		—	—	—	—
その他の食品		37	—	—	—
添加物		—	—	—	—
器具及び容器包装		2	—	—	—
おもちゃ		—	—	—	—
計		106	0	0	0

(2) 検体数及び不適検体数の年度別推移（5年間）

区分	年度	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)
検体数		355	361	157	153	106
不適検体数		1	—	1	—	—

3 普及啓発の実施

食品営業者または食品衛生責任者等を対象に、食品の衛生的取扱い、食中毒予防、自主管理等について講習会を業種別、地域別等に開催し、食品衛生知識の普及向上に努めました。

(1) 食品衛生講習会の実施状況

区分		開催回数	参加人員	内 容
営業者関係	食品衛生責任者	36	2,511	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生管理運営基準 ・食中毒予防
	上記以外	9	195	
	計	45	2,706	
消費者		2	33	・食中毒予防

4 食中毒の処理

食中毒発生に際し迅速かつ的確な調査を実施し、原因究明に努めるとともに適切な措置を講じ、事故の拡大及び再発防止に努めました。

(1) 食中毒の発生状況

発生日	摂食者数	患者数	死亡者数	原因食品	病因物質	原因施設
8月7日	27	11	0	不明 (8月7日の食事)	不明	飲食店営業 (一般食堂)
1月6日	30	24	0	不明 (1月5日の食事)	サポウイルス	飲食店営業 (一般食堂)

5 食品関係等の苦情処理

食品等の苦情について迅速かつ的確な処理を行い、再発防止に努めました。

(1) 食品等の苦情処理

種別	項目	異物混入	かび	腐敗変敗	異味異臭	不衛生	容器包装の不良	有症情	その他	計
		施設等に関するもの	—	—	—	—	17	—	—	9
食品に関するもの	乳・乳製品・乳類加工品 (直接飲用に供する物)	1	—	—	1	—	—	—	1	3
	乳・乳製品・乳類加工品 (上記以外の物)	—	—	—	—	—	—	1	—	1
	魚介類及びその加工品	1	—	—	1	1	—	4	—	7
	卵・肉類及びその加工品	1	—	1	1	1	—	—	—	4
	穀類及びその加工品	1	2	—	—	—	—	—	—	3
	豆類及びその加工品	1	—	—	—	—	—	—	—	1
	野菜類及びその加工品	—	1	—	—	1	—	1	—	3
	菓 子 類	4	1	—	—	2	—	—	—	7
	複 合 調 理 食 品	3	—	—	3	1	—	24	2	33
	そ の 他 の 食 品	1	2	—	—	—	—	3	—	6
小 計	13	6	1	6	6	0	33	3	68	
計	13	6	1	6	23	0	33	12	94	

(2) 苦情処理件数の年度別推移(5年間)

年 度	2006年度 (平成18)	2007年度 (平成19)	2008年度 (平成20)	2009年度 (平成21)	2010年度 (平成22)
件 数	112	114	162	103	94